

2 0 2 2 年 度  
事 業 報 告

育 秀 会

# 2022年度（令和4年度） 育秀会事業報告

## 1. 育秀会の基本精神・理念

社会福祉法人育秀会は、昭和27年（1952年）に認可を受けて乳児院を創設し、2022年は育秀会法人設立70周年を迎えました。創設者阿部秀世前理事長の創業の精神を引き継ぎ、昭和から平成、令和に向け「for others」を基本精神に、「安心・安全で快適な暮らし作り」を理念に社会福祉事業を推進しました。

## 2. 育秀会の運営報告

2022年も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各施設ではクラスターの発生による新規入所者やショートステイの受け入れ停止、デイサービスの休止、ホームヘルプサービスの利用控えなど事業運営に大きな影響を与えました。

これまでの新型コロナウイルス感染症対応の経験を活かして、引き続きPCR検査・抗原検査の迅速対応やマスク着用、消毒・手洗いなど感染予防対策を行いました。また、変異株が猛威を振るい入院が出来ない時期には施設内で感染患者の療養を続けました。

地域における近隣の社会福祉法人とのネットワーク事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、これまでの交流を無駄にしないように他法人とのオンライン会議を続け、社会福祉法人として地域の課題を見逃さず、住み慣れた地域で安心して生活できるように社会福祉法人ネットワーク事業を続けました。

## 3. 本部事業

### （1）理事会・評議員会の開催

①理事会 2回（書面1回）開催し、重要事項について審議しました。

第1回理事会 令和4年5月20日（書面）

理事 同意書6名、監事 確認書2名

第1号議案 2021年度事業報告（案）について

第2号議案 2021年度決算報告（案）について

第3号議案 個人情報保護規程改正（案）について

第4号議案 定時評議員会招集通知（案）について

第5号議案 役員賠償責任保険加入について

第2回理事会 令和5年3月25日

理事 5名、 監事 1名

- 第1号議案 2022年度補正予算（案）について
- 第2号議案 2023年度事業計画（案）について
- 第3号議案 2023年度当初予算（案）について
- 第4号議案 規程の一部改正（案）について
- 第5号議案 役員賠償責任保険加入について
- 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告  
(2021年11月～2023年3月)

②評議員会 1回（書面）開催し、重要事項について審議し、すべて可決承認されました。

定時評議員会 令和4年6月2日（書面） 評議員 同意書7名

- 第1号議案 2021年度事業報告（案）について
- 第2号議案 2021年度決算報告（案）について

(2) 監事監査

志田朝夫監事及び赤羽秀樹監事による監査を令和5年5月12日に行い、令和4年度の事業報告及び決算報告の内容を吟味し内容の正しい事を確認しました。

(3) 借入金の償還（令和4年度分）

第3育秀苑建設資金

償還額（令和15年度償還完了予定）

福祉医療機構借入	元金	9,948,000 円
	利子	1,118,523 円
	合計	11,066,523 円

償還財源

練馬区補助金	元金	5,000,000 円
都利子補給	利子	1,065,260 円
自己資金		5,001,263 円
	合計	11,066,523 円

#### 4. 今年度の重点課題

##### (1) 育秀会ブランドの確立

1. 法人の理念・基本精神を徹底しました。
2. 法人設立 70 周年を迎え、改めて創設時の趣旨に立ち返り、質の高いサービスを提供しました。
3. 各施設において、それぞれの強みを活かしたミッションを設定して実行しました。
4. 70 周年誌やホームページを通して、法人事業活動を発信しました。
5. 地域の福祉拠点として、地域包括支援センターと協同して地域課題に柔軟に対応し地域包括ケアシステムを推進しました。

##### (2) 未来志向の経営への取り組み

1. リスクマネジメント対策を強化し、感染症や災害時における業務継続計画の策定により対応力強化を図りました。
2. コロナ禍で事業運営が制限され、計画通りの収益は確保できませんでした。
3. 法令や社会的ルールの研修を行い、コンプライアンスや情報管理に取り組みました。
4. 組織力強化を図り、職員の育成に取り組みました。
5. 人事管理ソフトの活用や次世代介護機器の活用等によって、業務の効率化を図りました。

##### (3) 質の高い支援への取り組み

1. 全ての人々の人権を尊重し、個人の尊厳を守る福祉サービスを提供しました。
2. 社会環境や利用者のニーズに即応したサービスの提供に努めました。
3. 外部評価として利用者満足度調査、第 3 者評価、虐待の芽チェックリストを実施し、自己評価も併せて、利用者本位の個別ケアが行われているかを振り返りました。
4. 本年度は、第 2 育秀苑でナースコール更新整備や眠りスキャン等 ICT 機器を導入し環境整備に努めました。
5. 職員の研修や資格取得の支援を行いました。

##### (4) 福祉人材への取り組み

1. 多様な人材や多様な働き方を受け入れ、積極的に採用を行いました。



2. キャリアパス制度の見直しを図り、個人別のプログラムに沿った研修を実施し、各レベル別に目標管理を行い、人材育成を行いました。
3. 産休・育休中の女性職員の職場復帰だけでなく、男性職員も2名（1名は1週間・1名は1か月）育児休暇を取得し職場復帰しました。
4. 多様化・複雑化する生活課題・福祉需要に対応するように、研修等を通して福祉人材を育成しました。
5. 職員のハラスメント研修・メンタルヘルス研修を通して、職員の健康保持を図りました。

(5) 地域貢献への取り組み

1. 新型コロナウイルス感染症流行中、地域住民を対象にした講演会や交流などは開催出来ませんでした。
2. コロナ禍でしたが、時期を選び、町会と災害時訓練を行いました。
3. 公益的な取り組みとして介護者教室等を行いましたが、今年度はコロナ禍の影響で十分に出来ませんでした。
4. 地域の社会福祉法人との協力体制を維持し、オンラインで情報交換しました。また、感染の少ない時期を選び、近隣法人の取り組みを見学し交流しました。
5. 介護実習生の受け入れを継続し、介護人材育成を続けました。

## 2022年度 育秀会レベル別研修・キャリアアップ研修報告

### 1 レベル別研修

研修名	参加人数			
	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
レベル1 (3回/年)	1名	2名	2名	5名
レベル2 (3回/年)	2名	1名	4名	7名
レベル3① (1回/年)	1名	4名	3名	8名
レベル3② (1回/年)	1名	2名	2名	5名
レベル4 (1回/年)	0名	2名	4名	6名
レベル4 公開講座(1回/年)	8名	7名	8名	23名
	13名	18名	23名	54名

※感染症の影響により、殆どの研修をオンライン開催で実施。

※レベル4 公開講座「アンガーマネジメント 入門講座」もオンライン開催で実施。

### 2 新規採用入職者研修

2022年4月1日(木)～2日(金)

育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
1名	5名	4名	10名

### 3 公開講座

「認知症ケア」

2022年8月31日(水) オンライン研修 参加者 45名

(育：10名、第2：19名、第3：16名)

「看取りへのそれぞれの思い～対話型のデスエデュケーション・プログラム～」

2023年3月17日(金) 集合型研修 参加者 36名

(育：11名、第2：14名、第3：11名)

### 4 検討・研究発表会

- ・レベル1 事例検討発表会 感染症拡大の為、事例のみ集約。
- ・レベル2 事例検討発表会 感染症拡大の為、事例のみ集約。
- ・法人内研究発表会 感染症拡大の為、発表は行わず抄録集を作成。

### 5 昇任前研修

2023年3月13日(月)

	育秀苑	第2育秀苑	第3育秀苑	合計人数
係長	0名	1名	0名	1名
主任	1名	0名	1名	2名

2 0 2 2 年 度

事 業 報 告

育 秀 苑

# 2022年度

## 育秀苑事業報告

本年度も各種感染症の影響により、様々な制約がある中での事業活動となりました。

施設内の行事は、ご家族や地域の方は呼びせず利用者、職員が主体となって開催しましたが、前年度に比べて規模や内容を緩和して行うことが出来ました。

地域交流は、近隣小学校からの依頼で福祉に関する授業を行ったり、中学校からの職場等体験の受け入れ、さくら祭りのボランティア参加等、少しずつではありますが、地域の中で社会福祉法人の役割が果たせる様努めました。又、災害時を想定した防災訓練では町会の方にも一部ご参加頂き協力体制を確認しています。

本年度は、新規入所者が39名に対して、退所者が42名となりました。これは過去に例を見ない入退所者の数です。新型コロナウイルス感染症により、年間で2回クラスターが発生する事態となりました。その影響による退所者も多くなり、新規入所も遅れる事となりました。

勤怠管理、給与ソフトの導入により、職員の勤務状況の把握や管理課業務の簡素化に繋がり、更なる運用に向けた足掛かりになる年となりました。

育秀苑居宅介護支援事業所は、介護支援専門員6名体制が安定し、特定事業所加算を継続して算定しています。利用者のニーズ変化に対応しながら、担当件数を維持しました。

桜台地域包括支援センターは、引き続き地域の福祉ニーズに対応しました。コロナ禍や様々な事情で疲弊している中、地域の方々の拠り所になるよう「街かどケアカフェさくら」も含め活動の幅を広げる事ができました。

### 1. 職員配置状況

2023年3月31日現在で常勤職員43名、非常勤職員33名、計76名体制で職員を配置しました。【表1-①】

### 2. 職員採用

2022年度の採用は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員については、新規採用2名、他施設からの異動5名、退職者3名、他施設への異動3名でした。
- 2) 非正規職員については、新規採用7名、退職5名でした。

### 3. 職員研修

内部研修として、施設内研修、法人で行うレベル別研修を行い、専門職としての資質向上に努めました。年度末にはグループワークを交えた研修も実施出来ました。外部研修への参加については集合型研修、WEB研修を組み合わせ参加しました。研修報告、伝達等により職員全体へフィードバックし、知識や技術の底上げを図りました。

【表2】

#### 4. 防災管理

総合防災訓練は、昨年同様、コロナ禍での開催となってしまいましたが、町会の方にご参加いただき、通報、消火、避難と一連の訓練を行うことが出来ました。各種感染症の影響を鑑み、集合研修の回数は減ってしまいましたが、書面回覧等を活用し、防災意識の向上に努めました。

#### 5. 施設整備

雨水ポンプ等設備系の老朽化が進んでおり、昨年度に比べ修繕費が2倍近く計上されています。日々の点検で早期発見、早期対処をすることで、費用の削減を行っていきます。また、居宅介護支援事業所では、請求システムであるほのぼのをクラウド化することによりサーバー管理のコスト削減や、作業効率の向上を図りました。

【表1-①】

## 2022年度 職員配置及び移動状況

## (1) 配置状況

特養 定員60名 ショート 定員5名 2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	4 (兼務4)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	19	19 (介護福祉士18)	12 (介護福祉士5)	常勤換算24.6人
看 護 職 員	3	3	2	常勤換算4.1人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1	1	1	あん摩マッサージ指圧・PT
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			7	
計	28	33 (兼務4)	29	

## 居宅介護支援事業所

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1 (兼務1)		介護支援専門員兼務
介護支援専門員	3	4	2	
計	4	5 (兼務1)	2	

## 地域包括支援センターおよび生活支援員センター

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社 会 福 祉 士	1	1		
保 健 師 (看護師)	1	1		
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	2		
生活支援員	2	2		
ケアカフェさくら担当	1	1	1	
事務員	1		1	
計	11	10	2	

合 計	43	48 (内兼務5)	33	
-----	----	-----------	----	--

【表1-②】

## (2) 職員異動状況

## 常勤職員 採用

2023年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2022.4.1	採用	介護職員	1						
2023.3.1	採用	事務員						1	

## 常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2022.4.1	異動	施設長						1	第2育秀苑より
4.1	異動	包括プランナー				1			第3育秀苑より
4.1	異動	生活支援員					1		第2育秀苑へ
4.1	異動	包括プランナー				1			第2育秀苑へ
10.11	異動	介護職員	1						第3育秀苑より
12.1	異動	生活支援員					1		第2育秀苑へ
2023.1.1	異動	生活支援員					1		第2育秀苑より
3.1	異動	訪問支援員				1			第3育秀苑より

## 常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2022.9.30	退職	介護職員	1						
2023.1.31	退職	訪問支援員				1			
3.1	退職	事務員						1	

## 非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2022.9.1	採用	宿直						1	
10.3	採用	看護師		1					
10.13	採用	介護職員	1						
12.1	採用	宿直						1	
2023.1.14	採用	運転手	1						
2.5	採用	宿直						2	

## 非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2022.8.31	退職	宿直						1	
9.30	退職	事務員				1			
2023.2.3	退職	宿直						1	
3.31	退職	介護職員	1						
3.31	退職	運転手	1						

## 2022年度 職員研修

(外部研修参加一覧表) 【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修名
施設長	令和4年度 東京都社会福祉協議会 高齢者福祉施設協議会総会(Zoom)	特養	介護現場における口腔ケアについて～誤嚥性肺炎をゼロへ～
	「高齢者施設の個人情報保護法対策～法改正対応より基本ルールの徹底を～」		東社協の経営実態調査について、WEBにてフォローアップ研修
	令和4年度特養分科会		機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価
	第22回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修		床ずれ対策や車椅子の移乗について、基本的な知識と最新のケアや理論
	介護現場におけるハラスメント対策説明会		口腔ケア～排泄ケアの新たな方法
管理課	ゲートキーパー養成講座	居宅介護	摂食嚥下リハビリテーションの基礎と実践
	災害に関する研修会		令和4年度 カスタマーハラスメント研修
	生産性向上セミナー		「眠りSCANで見てきたケアのタイミング～見守り・排泄ケア・起床介助～」
	社会福祉法時にとってのインボイス制度・電子帳簿保存法		圏域別地域カンファレンス
	令和4年度公正採用選考人権啓発推進員研修会		優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード
医務	令和4年度東京都老人福祉施設等感染対策指導者養成研修	生活支援員	けあまねりま「災害時のBCP～平時に備えとしてケアマネジャーの役割と連携を考えよう～」
	第4次食育推進基本計画を見据えた新しい時代の食育		自殺防止のゲートキーパーの役割
管理栄養士	嚥下調整食 学会分類2021の実践について		記録の書き方～支援にとって必要な記録とは～
	生活相談員リスクマネジメント研修会		クレーム対応基礎研修
生活相談員	介護報酬請求事務に関する研修会《応用編》		令和4年度「第一回ネリッシュ研修」
	ケアプラン作成とライフ加算マネジメント		人生の最終段階の多職種連携
	施設入所・退所時の事務手続き等対応研修		虐待・グレーゾーンについて考える
	令和4年度 外国人介護従事者指導担当職員向け研修		令和4年度「第二回ネリッシュ研修」
	令和4年度 外国人介護従事者受け入れ支援セミナー		質の向上ガイドライン研修
	多職種で学ぶライフ加算マネジメント		アセスメントとケアプランの構造理解
	ショートステイWEB情報交換会		今井塾！ 生活保護制度と低所得者施策
	記録の書き方		令和4年度 事例検討会
	高齢者虐待防止研修		医療連携ワークショップ
特養	Dケアセミナー「高齢者の予防的スキンケア」		依存症相談対応研修 アルコール依存症研修
	知っておきたい接遇マナーの基本		依存性相談対応研修 ギャンブル等相談研修

(施設内研修) 【表2-②】

	研修名		研修名
5月	リスクマネジメント①	10月	感染症予防対策②(インフルエンザ・ノロウイルス)
5月	感染対策シミュレーション①	11月	看取り介護①
6月	褥瘡予防	11月	個人情報保護・権利擁護
7月	感染症予防対策①(食中毒)	1月	感染症対策シミュレーション②
7月	BCP①	3月	リスクマネジメント②
7月	身体拘束廃止②	3月	虐待防止②
8月	認知症介護	3月	看取り介護②
8月	身体拘束廃止①	3月	ハラスメント
8月	虐待防止①	3月	BCP②



## 2022年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓 練 内 容
4月	消火栓・自動火災報知設備操作説明 消火栓・自動開催報知設備の操作マニュアルを参照しながら説明。 参加者 9名
5月	<b>BCP 訓練</b> 災害発生時の緊急出勤について（書面回覧）： 震災発生時の出勤基準について書面回覧。
6月	福祉避難所開設マニュアルについて（書面回覧） 福祉避難所マットレス、簡易間仕切り設営マニュアルについて書面回覧。
7月	3施設合同無線機使用訓練 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を行った。 参加者 8名
8月	通報訓練（書面回覧） 火災発生時に消防へ通報する際の注意点について書面回覧。
9月	<b>BCP 訓練</b> 災害時献立確認と調理実習 災害発生時に <b>BCP</b> に沿って迅速に食事を提供するための訓練を行った。 参加者 8名
10月	総合防災訓練（予行練習） 総合防災訓練のシミュレーションを実施。 参加者 13名
11月	総合防災訓練（桜台二・三丁目町会と合同） 桜台二・三丁目町会と合同で防災訓練を実施。B1階での出火を想定。 参加者 13名、町会 1名
12月	避難器具及び日常点検のポイントについて（書面回覧） 避難器具の使用マニュアルと、消火設備等の日常点検についてマニュアルを書面回覧。
1月	夜間想定防災訓練 夜間に火災が発生したと想定し、通報、消火訓練を行った。 参加者 11名
2月	<b>BCP 訓練</b> （書面回覧） <b>BCP</b> への理解を深めるため、研修動画 URL を記載し書面回覧。
3月	次年度防災計画について 今年度の訓練のまとめと、2023年度の防災計画について検討を行った。 参加者 7名

# 2022年度

## 育秀苑介護老人福祉施設

### 短期入所生活介護事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 日々申し送り時に基本精神「for others」、理念「安心・安全で快適な暮らし作り」を唱和し、法人の一員であることを意識して取り組みました。又、本年度ミッション「あなたも私も大切に！協力し合い笑顔のサービス」の達成に向け職員一丸となり、利用者の気持ちに寄り添い、一人一人に合わせた支援を行うことで笑顔を引き出すサービスを実践しました。
- ② コロナ禍により研修や会議等集合型とオンライン使用を併用して安定的に会議やミーティングの開催とサービス提供を行うことが出来ました。
- ④ 日頃より地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と情報の共有を行い、地域活動への参加や緊急の受入れ等住み慣れた地域での生活が安心して継続出来る様、更なる協力体制を整えました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 感染症発生時の対応を参考にBCPを改めて見直し、職員への意識付けに繋がりました。自然災害発生時の対応については、各種委員会や会議、訓練等において職員への周知、再確認を行いました。
- ② 施設内研修や法人レベル別研修を実施し、サービスの質の向上やスキルアップを図りながら、法人が求める人材育成に繋がる様取り組みました。
- ③ 令和4年度特養稼働率 84.9%となりました。新型コロナウイルス感染症によるクラスターが年間2回あり、新規入所者の受け入れを休止する事となりました。又、感染後の予後の影響もあり退所者が多くなる事態となりました。令和4年度ショートステイ稼働率は特養同様の理由で受入れ休止期間があり、稼働率 80.3%に留まりました。新規利用者は37名となり、積極的な受入れが功を奏した為、今後の定期利用に繋がる体制作りの足掛かりとなる年となりました。以前に比べて、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの関わりが増え、ショートステイ稼働率が単月では100%を超えることが出来ました。
- ④ 見守りセンサーやシルエットセンサーを使用し夜間も巡回の軽減や看取り介護実施時の呼吸確認など業務負担を減らす事が出来ました。又、タブレットを使用し動画や写真をお見せする事で、入所見学対応に活用し、新規入所へ繋がりました。他施設への実態調査もオンラインで行う事で移動時間の短縮などに繋がりました。

### 3 質の高い支援の取り組み

- ① 制限のある生活の中でも利用者一人一人の意向を聞き取り、出来る限り対応する事で、少しでもご自宅での生活や、望まれる生活になる様に多職種で協働し実施しました。
- ② 地域の方々からの要望を伺う機会は少ない現状ですが、防災訓練や会合等でニーズを把握し、地域に根差した施設である意識を持ち、ニーズに即したサービス提供に努めました。
- ③ 第三者評価を受審しました。年2回の個人評価の際にも振り返りをし、サービスの質の向上に努めました。
- ④ 次世代機器の新たな購入は無く、現在所有しているシルエットセンサー、ケアボードなど効率の良い使用方法を検討し理解度を深めました。ベッドや入浴機器等の自主点検をし、保守管理による迅速な修理対応に繋げ、機器の適正な効果を得る事が出来ました。
- ⑤ 法人のレベル別研修を基に、個々の職務や経験に応じた研修参加をすることが出来ました。資格取得やスキルアップに繋げることが出来ました。

### 4 福祉人材への取り組み

- ① 法人が参加する採用イベントに積極的に参加しました。求職者の個別希望に出来るだけ応えられるよう枠にとらわれない採用活動をし、体制を整えました。
- ② 法人のキャリアアップ制度を活用し、各職員に合った研修参加が行える様、職務免除等を行いました。それ以外にも職員それぞれの生活スタイルに合わせた休暇取得や柔軟な働き方を推進し、仕事を続け易い職場環境の整備を行いました。
- ③ ハラスメント・ストレスチェックも定期的に行い心身の健康を維持できる様、問題の早期対応を図りました。又、ハラスメントの施設内研修会を行い職員全体への認識を深めました。

### 5 地域貢献への取り組み

- ① 感染症の影響により地域交流スペースの開放や意見交換会等、地域との交流の場を設けることが出来ませんでした。近隣学校の依頼で、福祉について学校へ出向いて授業を行いました。
- ② 定期的に施設内での防災訓練を行い、総合防災訓練の際は町会の方にも一部参加して頂き実施しました。大規模災害に備え設備・備品点検を行い福祉避難所として備えを進めました。
- ③ 施設内での様子やイベントをスタッフブログ等で積極的に発信し、ご家族を始めとした多くの方々に伝える様実施出来ました。
- ④ 法人間連携研修に参加し各法人の取り組みや職員の知識を深める機会を作る事が出来ました。「ねりま社会福祉法人等のネット」の事業にも継続参加し、高齢者福祉に対するニーズ以外の情報共有を図り貢献出来る様努めました。
- ⑤ コロナ禍で保育園との交流を持つ事は出来ませんでした。介護福祉士養成課程の実習生、教員免許取得に係る介護等体験実習の受入れを行いました。

【表1】

## 特養稼働表

2023年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,644	91.3%
5月	1,860	1,434	77.1%
6月	1,800	1,614	89.7%
7月	1,860	1,624	87.3%
8月	1,860	1,630	87.6%
9月	1,800	1,609	89.4%
10月	1,860	1,712	92.0%
11月	1,800	1,682	93.4%
12月	1,860	1,335	71.8%
1月	1,860	1,384	74.4%
2月	1,740	1,329	79.1%
3月	1,860	1,593	85.6%
合計	21,960	18,590	平均 84.9%

(前年度平均 92.9%)

【表2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2023年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所								
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計	
4月	57	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3
5月	55	0	1	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	4
6月	52	2	1	3	0	6	1	0	0	0	0	0	0	1	
7月	57	0	0	1	0	1	5	1	0	0	0	0	0	6	
8月	52	2	1	2	0	5	2	1	0	0	0	0	0	3	
9月	54	0	0	3	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1	
10月	57	0	1	1	0	2	4	1	0	0	0	0	0	5	
11月	54	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	56	0	0	0	0	0	6	1	0	0	2	0	0	9	
1月	47	0	2	3	0	5	3	4	0	0	0	0	0	7	
2月	45	1	1	4	0	6	2	0	0	0	0	0	0	2	
3月	49	1	3	2	0	6	2	0	0	0	0	0	0	2	
計	635	6	10	21	2	39	32	9	0	0	2	0	0	43	

○2020年度の死亡による退所は21名（前年度25名）、内15名は施設内で看取りました。

【表3】

## 年齢・性別一覧

2023年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	0	2	2
75歳以上80歳未満	1	2	3
80歳以上85歳未満	4	9	13
85歳以上90歳未満	2	13	15
90歳以上95歳未満	4	10	14
95歳以上100歳未満	0	4	4
100歳以上	0	3	3
計	11	43	54
平均年齢	86.2	87.3	87.1
	(83.4)	(88.7)	(88.0)

( )内は前年度

○前年度と比べ男性の平均年齢が上がり、女性の平均年齢は下がっている。

○最高齢 101歳、最年少 73歳

【表4】

## 要介護度構成

2023年3月31日現在

2022年3月31日現在		2023年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	1	要介護度 2	1
要介護度 3	7	要介護度 3	8
要介護度 4	26	要介護度 4	23
要介護度 5	24	要介護度 5	22
計	58	計	54
平均	4.30	平均	4.20

○要介護2は1名。要介護3が8名。要介護4、5の在苑者数が減少した事で平均介護度は下がっている。

【表5】

## 在所期間

2023年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	8	17	25
1年以上2年未満	1	9	10
2年以上3年未満	1	6	7
3年以上4年未満	0	3	3
4年以上5年未満	0	3	3
5年以上6年未満	0	2	2
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	0	0	0
8年以上9年未満	1	0	1
9年以上10年未満	0	1	1
10年以上	0	0	0
計	11	43	54

○在所期間2年未満が30名で50.0%となった。

【表6】

< 身辺自立状況 >  
日常生活動作等の状況

2023年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	6 人 (20人)	33 人 (34人)	一部：歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部：自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	11 人 (12人)	5 人 (14人)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部：全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	27 人 (23人)	20 人 (31人)	一部：介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部：常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	30 人 (24人)	24 人 (31人)	一部：手を貸せば、着脱できる。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	16 人 (8人)	38 人 (49人)	一部：身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	51人 (51人)		自走：10人(17人)、一部介助：13人(9人)、全介助：32人(27人)
	認知症	53人 (54人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※ ( ) 内は前年度の数字

【表7】

&lt; 事故 ・ ヒヤリハット報告 &gt;

計 518件 (339件)	306件 (203件)	・ヒヤリハット報告 (見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	212件 (199件)	・事故報告 (行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	1 (0)
転 倒・転 落・滑 落	25 (23)
外 傷	149 (154)
異 食	1 (1)
誤 嚥	0 (2)
誤 薬	3 (0)
そ の 他	33 (19)
計	212 (199)

外傷149件中、3cm×3cm以下の皮下出血 112件

※ ( ) 内は前年度の数字

【表8】

## &lt;入所者ならびに職員の健康診断状況&gt;

## (ア) 入所者

2023年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者及び新規入所者の健康診断	実人数	91名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査(体調不良時など)	延人数	155名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

## (イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
9 月	46名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者はPWV(動脈硬化)検査
2 月	27名	介護者	腰痛健診(問診含む)
3 月	19名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

## (ウ) インフルエンザの予防接種

入所者	55名
職 員	41名

## (エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

5回目	利用者	43名
	職 員	31名
4回目	利用者	53名
	職 員	33名
3回目	利用者	2名
	職 員	0名

【表9】

## ＜療養食＞

2023年3月31日現在

食種	糖尿病食	糖尿・減塩食	減塩食
人数	0	0	5

【表10】

## ＜行事食＞

・行事食実施回数 年34回

2023年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	13	喫茶店の日	ナポリタン、コーンスープ、トマトとアボカドのサラダ、クリームソーダゼリー
	28	春の旬御膳	菜の花とあさりの炊き込みご飯、若竹汁、天ぷら、じゃが芋とそら豆の煮物、桃のミニパフェ
5	5	端午の節句	そら豆とほたての炊き込みご飯、吸物、さわらの照り焼き、筍の土佐煮、びわのミニヨーグルトパフェ
	8	母の日	海老天丼、吸物、トマトとアボカドのサラダ、ミニパフェ
6	19	父の日	カツ重、なめこ汁、なすときゅうりの香味和え、あじさいゼリー
	29	郷土料理「沖縄」	ジュシー（沖縄風炊き込みご飯）、もずくスープ、ゴーヤチャンプルー、人参シリシリー、パインゼリー
7	7	七夕	七夕そうめん、枝豆とコーンのかき揚げ、キャベツの塩昆布のサラダ、天の川ゼリー
	14	お盆	茗荷ご飯、かきたま汁、夏野菜の天ぷら、鯨の香味おろし和え、夏みかん缶
	16	駅弁の日	はらこめし、味噌汁、きんぴらごぼう、キウイフルーツ
	28	土用の丑の日	うなぎの混ぜご飯、みょうがの吸物、大葉入りつくね、オレンジ
8	9	ハンバーグの日	ご飯、スープ、煮込みハンバーグ、キャベツのマスタードマリネ、オレンジ
	11	山の日	きのこの和風カレー、筍のすまし汁、おくらと山芋の和え物、富士山ゼリー
	15	お盆	とうもろこしご飯、そうめん汁、太刀魚の梅ソース、冬瓜のうすく煮、牛乳寒天
	26	夏祭り①	やきとり丼、夏野菜スープ、枝豆とコーンのお焼き、チョコバナナムース
	28	夏祭り②	焼きそば、わかめスープ、じゃがバター&から揚げ、すいか
9	10	十五夜	お月見そばろ丼、吸物、菜の花となめ茸の和え物、スイートポテト風羊かん
	19	敬老会	松茸ご飯、吸物、秋鮭の柚庵焼き、天ぷら、炊き合わせ、果物 おやつ：紅葉羊かん
	27	秋の味覚御膳	栗ご飯、ごぼうの味噌汁、さんまの竜田揚げ、さつま芋とがんもの含め煮、梨
10	13	さつまいもの日	あんバターサンド、さつま芋のクリームシチュー、胡瓜とツナの和え物、りんご缶
	23	秋のレクリエーション	きのこご飯、鮭のちゃんちゃん汁、鶏肉と秋野菜の煮物、春菊のくるみ和え、柿
	27	新米フェア	ご飯（新米）、きのこの味噌汁、鮭の焼き漬け、たらこ、胡瓜の浅漬け、梅干し、のっぺ、柿
11	24	和食の日	さつま芋の炊き込みご飯、吸物、さわらの西京焼き、かのに茶碗蒸し、一口羊かん
	29	肉の日	ご飯、すき焼き、胡瓜とカニカマの酢の物、みかん缶
12	22	冬至	ご飯、けんちん汁、さわらのゆず味噌焼き、かぼちゃのいとこ煮、みかん
	24	クリスマス	ジャムサンド、トマトクリームスープ、ローストチキン、クリスマスサラダ、オレンジ
	25		エビピラフ、スープ、ミートローフ、いちごとキウイフルーツ
	31	大晦日	年越しそば（エビ天）、里芋の湯葉あんかけ、みかん
1	1	正月祝膳	海老といくらのちらし寿司、吸物、カレイの照り焼き、お節盛り合わせ、果物 おやつ：松竹梅羊かん
	2	正月	赤飯、味噌汁、天ぷら、ほうれん草の菊花和え、パイン
	3		五目炊き込みご飯、のっぺい汁、松風焼き、かぶの酢の物、みかん
	7	七草	七草粥、煮物、ブロッコリーとカニカマの和え物、練り梅
	15	小正月	小豆粥、冬瓜のそばろ煮、菜の花の和え物、のり佃煮
2	3	節分	いわしの炊き込みご飯、せりの吸物、大豆と蒸し鶏のかき揚げ、かぶの柚子漬け、いちご
	24	冬の旬御膳	せりの炊き込みご飯、ごぼうの味噌汁、赤魚のかぶら蒸し、春菊の辛子和え、ミルクプリン小豆ソース
3	3	ひな祭り	ちらし寿司、あさりの吸物、筍の土佐煮、桃のミニパフェ おやつ：甘酒・桜羊かん
	20	お花見御膳	赤飯、若竹汁、菜の花と海老のかき揚げ、春キャベツの和え物、いちごとキウイフルーツ

## その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）



【表11】

## ＜家族との連携状況＞

## (1) 月別の面会状況

2022年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	21	9	30	48	24	14	38	66	6	6	28	38

計 328人 月平均 27人

○ 年度後半からは対面面会とオンライン面会を併用し実施。お看取りの方は、個別対応実

## (2) 外泊の状況について

○ 外泊者は0名でした。

## (3) 家族との連絡

○ 定期的連絡 年12回（毎月の行事及び各利用者の先月の様子を含めたお知らせを送付）

○ 介護保険に関する連絡 随時

○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時

○ ケアプランの承認及び、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

○ 予定していた家族懇談会は、感染症予防対策のため未実施

【表12】

## ＜実習生の受け入れ状況＞

2023年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
東京福祉保育専門学校	介護福祉士実習	2人	46日	
		人	日	
		人	日	
	計	2人	46日	

## ＜地域との連携（社会資源）及び、ボランティア活動＞

2023年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
桜台2・3丁目町会	災害協定・防災合同訓練・祭礼等	1人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	0人	無
練馬理髪組合	出張理容	16人	有
神の教会保育園	訪問交流	0人	無
力行幼稚園	訪問交流	0人	無
にじいろ保育園	訪問交流	0人	無
個人ボランティア	洗濯物整理・編み物	0人	無
グループボランティア	花あそび・演奏会	0人	無

【表13】

## ＜クラブ（サークル）参加状況＞

2023年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
レク活動	月間 25人	職員	無	週 1回
園児交流会	感染症予防対策のため未実施			
金管楽器音楽会				
花あそび				

【表14】

## 2022年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	1	土	花見	感染予防対策のため未実施。
5	5	木	端午の節句	花菖蒲と五月人形を飾って端午の節句を祝いました。
	8	日	母の日	赤いカーネーションの花束を用意し記念撮影をし、行事食で母の日を祝いました。
6	19	日	父の日	ひまわりの花束を用意し記念撮影をし、行事食でお祝いをしました。
7			供養会	未実施
8	26, 28	金、日	育秀苑祭り	浴衣を着た職員と一緒に盆踊りを踊り、アイスやジュースを食べ楽しみました。
9	19	月	敬老祝賀会	長寿の祝い品をお渡しし、長寿を祝いました。
10	23	日	レクリエーション大会	プロジェクターを使用し、紅葉の映像鑑賞や行事食を楽しみました。
11	7~14	月~月	開設記念の作品展	作品の展示、写真を展示しました。
12	25	日	クリスマス会	サンタクロースに扮した職員と記念撮影をし、行事食を楽しみました。
1	1	日	新年祝賀会・初詣	元旦祝膳で新年を祝いました。
2	3	金	節分豆まき	鬼の的に向かって新聞球を投げや行事食を楽しみました。
3	3	金	雛祭り	1Fフロアに雛人形、桃の花を飾り節句を祝いました。

通 年	金管楽器音楽会	感染症予防対策のため未実施
	園児訪問	
	趣味活動 (花あそび)	
	被服販売会	

【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能 日数	利用数	利用率	
4月	150	110	73.3%	156	0	0%	2
5月	155	75	48.4%	426	0	0%	0
6月	150	76	50.7%	186	0	0%	3
7月	155	100	64.5%	236	0	0%	7
8月	155	111	71.6%	230	88	38.3%	6
9月	150	134	89.3%	191	10	5.2%	4
10月	155	87	56.1%	148	29	19.6%	3
11月	150	118	78.7%	118	23	19.5%	3
12月	155	72	46.5%	525	14	2.7%	1
1月	155	88	56.8%	476	30	6.3%	1
2月	140	86	61.4%	351	34	9.7%	2
3月	155	132	85.2%	267	49	18.4%	5
合計	1,825	1,189	平均 65.2%	3,310	277	平均 8.4%	37名
	(前年度平均 61.5%)			(前年度平均 1.0%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	0	10	1	46	53	0	110
5月	0	0	11	0	32	32	0	75
6月	0	0	0	6	32	38	0	76
7月	0	0	7	26	30	37	0	100
8月	0	0	36	53	28	77	5	199
9月	0	0	50	29	22	43	0	144
10月	0	0	18	47	25	26	0	116
11月	0	0	54	45	20	22	0	141
12月	0	0	35	35	6	4	5	85
1月	0	0	20	25	36	31	5	117
2月	0	0	39	11	40	10	20	120
3月	0	0	31	23	51	22	31	158
合計	0	0	311	301	368	395	66	1,441
%	0%	0%	4.75%	22.4%	25.6%	21.1%	23.4%	100%

## 2022年度

# 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

### 2022年度の重点課題

#### 1 育秀会ブランドの確立

- ①育秀会の理念・基本精神を基に利用者の心に寄り添う支援を心掛け、地域社会作りに努めて参りました。また各関係機関と連携し福祉と医療のネットワーク構築に努め、地域から信頼される事業所づくりに取り組みました。
- ②各種会議は参集による会議開催に加え新型コロナウイルス感染状況を考慮し書面開催も併せて行い法人内での情報の共有、事業所間の標準化に努めました。
- ③令和4年度育秀苑ミッション「あなたも私も大切に！協力し合い笑顔のサービス」を念頭に置き、親切・丁寧な対応を心がけサービス提供に取り組んで参りました。

#### 2 未来志向の経営への取り組み

- ①感染症や自然災害が発生した場合であっても利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供する事が出来るよう業務継続計画（BCP）を策定いたしました。
- ②利用者の人権擁護・虐待防止等の為に「高齢者虐待の防止・高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律」の規定の遵守、また高齢者虐待防止研修へ参加し職員の人権意識や技術の向上に努めました。
- ③地域包括支援センター等と連携しながら新規利用者を積極的に受け入れ担当件数の安定化に努めて参りました。また入院時情報連携加算や退院退所加算等、各種加算を算定し医療連携強化・収益確保に努めました。
- ④個人情報持ち出し管理簿を運用し個人情報の適切な管理を行って参りました。また毎月の提供票、居宅サービス計画書などの書類の郵送およびファクシミリ利用の際は、細心の注意を払い誤送付事故の防止に取り組みました。

#### 3 質の高い支援への取り組み

- ①利用者が自立した日常生活を営む事が出来るよう利用者の意思と人格を尊重しその立場に立って公正中立な支援を提供して参りました。また可能な限り住み慣れた地域で生活出来るよう利用者及び家族の選択に基づき、保健・医療・福祉・民間サービス等、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう支援して参りました。
- ②特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件を満たす為、職員体制の維持・24時間連絡体制の確保・東京都介護支援専門員実務研修実習の受入れ・地域包括支援センター主催の事例検討会への参加、他法人と共同事例検討会の開催等を実施いたしました。
- ③法人内研修や練馬介護人材育成・研修センター等の外部団体が主催する研修会はオンラインを活用しながら計画的に参加し専門性の高い人材育成に努めて参りました。また事業所内での情報交換・課題の共有・相談援助をスムーズに行う事が出来るよう毎朝のミーティングや1回/週 定例会議を開催しケアプラン作成能力の向上に努めました。

- ④介護予防・日常生活支援総合事業の練馬区からの受託事業者としての登録を継続し、要支援者等に対し介護予防ケアマネジメントを提供しました。
- ⑤介護保険法改正等について理解を深め「介護報酬」や「運営基準の変更」「加算要件の変更」など、常に最新の情報を収集し法令遵守に努めて参りました。また「運営基準減算チェック表」を用いて毎月の業務を確実に遂行し、運営基準減算に該当しない居宅介護支援を実施して参りました。
- ⑥災害時の要援護者リストを作成し担当利用者の緊急時の連絡先を適宜確認しながら、災害発生時の危機管理意識の向上に努めました。
- ⑦新型コロナウイルス等、感染症の発生及び蔓延防止対策について、昨年同様継続して取り組みました。また衛生委員会等へ参加し感染予防の為の意識強化を図りました。

#### 4 福祉人材への取り組み

- ①ミーティングや定例会議等を通して職員間で情報を共有し、担当者不在時でも事業所として対応が出来る体制の維持に努めました。また「ワーク・ライフ・バランス」確保の為、職員が休暇を取りやすく快適な職場環境作りに取り組みました。
- ②管理者は、職員の労務環境整備、定期的な面談、職員とのコミュニケーションを図り、職員の心身の健康等を日常的に観察しサインを見落とさないように努めて参りました。またハラスメント防止のため研修等で学びを深め、風通しの良い職場環境づくりに努めました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ①地域包括ケアセンター会議、地域ケア圏域会議に積極的に参加し地域の民生児童委員、老人会、町会、自治会、介護事業者等との連携・顔の見える関係づくりに努めました。
- ②大規模災害時に対応が出来る事業所として、実際の災害発生時に落ち着いて行動が出来るよう定期的に行われる防災会議へ参加し職員の意識強化に努めて参りました。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	16	16	16	16	15	17	17	16	16	15	16	15	191 (191)
要介護1	57	59	56	58	55	57	56	61	59	57	57	61	693
要介護2	62	61	61	57	52	53	57	59	55	55	56	56	684
要介護3	32	30	29	27	25	26	26	25	25	25	29	27	326
要介護4	22	21	22	22	21	20	25	22	22	24	27	24	272
要介護5	17	17	17	17	15	16	16	15	15	21	15	13	194
介護合計	190	188	185	181	168	172	180	182	176	182	184	181	2,169 (2,243)

※ ( ) 内は前年度の数字

2022年度

事業報告

第2育秀苑

# 2022年度

## 第2育秀苑事業報告

令和4年7月にショートステイご利用中の方の新型コロナウイルス感染症の陽性が判明し、その後他のショートステイの方や入所者の陽性が判明し短期入所生活事業の受入れを一時的に休止しました。また同年11月にも利用者19名の感染により再度短期入所生活介護の受入れを休止せざるを得なかったこともあり、今年度は特養、ショートステイともに大幅な減収となりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染による長期入院や新規の受入れ制限等もあり稼働率も大きく低下し、現状の回復に時間を要してしまっただけでなく、在宅部門においても、一昨年度の稼働時間に比べて大幅に減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が施設全体への大きなダメージとなりました。

そのような状況もありましたが、施設においては東京都次世代介護機器導入促進支援事業の補助を受けて見守り支援機器を導入し、センサーやカメラ等の通信環境を整備することで利用者に合わせたケアの実現と、職員の業務効率化を図り、職場環境の改善を図りました。実践的な運用を推進し、利用者・職員にとってより良い生活と環境が提供できるよう取り組んでいくと共に、利用率の向上を図り、安定した事業の継続に取り組んで参ります。

### 1. 職員配置状況

2023年3月31日現在で常勤職員36名、非常勤職員47名、計83名体制で職員を配置しました。【表1-①】

### 2. 職員採用

2023年度の採用は【表1-②】の通りです。

1) 正規職員については、新規採用2名、他施設からの異動1名、退職者4名、他施設への異動3名でした。

2) 非正規職員については、新規採用6名、他施設からの異動2名、退職3名でした。

### 3. 職員研修

書面や動画を活用した研修を開催するなどして、職員一人一人の知識向上に努めました。また、感染症の流行に注視しながら、オンラインでの参加だけでなく、外部研修への参加の機会を増やし、コロナ前の日常を少しずつ取り戻しつつ、研修に参加することができました。引き続き区内の他法人との連携研修にも参加する事で、施設間の連携を図るとともに、職員の意識向上に繋がりました。【表-2①②】

### 4. 防災管理

対面での防災訓練実施に制約があるなか、今年度は机上訓練や動画視聴を中心に防災委員会を開催しました。定期的に行っている訓練や策定したBCP（事業継続計画）の確

認及び評価等を行い、職員の防災意識を高めると共に訓練における改善事項の検討、見直しを行いました。【表 3】

## 5. 施設整備

東京都次世代介護機器導入促進支援事業を活用し、ナースコールシステムの更新や通信環境の整備、見守り支援機器「眠りスキャン」を導入しました。利用者の見守り環境を整えるとともに、職員の業務の効率化を図りました。今後はより効果的な運用を進めてまいります。



【表1-①】

## 2022年度 職員配置及び異動状況

## (1) 配置状況

特養 定員50名 ショート 定員6名

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
施 設 長	1	1		
医 師	必要数		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	2(兼務2)	1	
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	17	17(介護福祉士14)	7(介護福祉士3)	常勤換算21.3人
看 護 職 員	2	2	2	常勤換算3.3人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1	1	1	
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			4	
計	24	28(兼務2)	22	

## 訪問介護事業所

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
管理者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	3	3		
ホームヘルパー			23	
計	4	4(兼務1)	23	

## 地域包括支援センター

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社会福祉士	1	1		
保健師	1			欠員
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	1	1	
事務員			1	
計	7	5	2	

## 生活支援員センター

2023年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非 常 勤	
生活支援員	2	2		
計	2	2		

合 計	35	39(内兼務3)	47	
-----	----	----------	----	--

【表1-②】

## (2)職員異動状況

常勤職員 採用

2023年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.4.1	採用	介護職員	1					新卒1名
5.1.1	採用	介護職員	1					

常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.4.1	異動	生活支援員				1		育秀苑より
4.12.31	異動	介護職員	1					育秀苑へ
5.3.31	異動	生活相談員	1					育秀苑へ
5.3.31	異動	生活支援員				1		第3育秀苑へ

常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.4.30	退職	介護職員	1					
4.6.30	退職	介護職員	1					
4.11.30	退職	訪問支援員			1			
4.12.31	退職	相談員			1			

非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.4.25	採用	ヘルパー		1				
4.8.1	採用	宿直員					1	
4.9.15	採用	ヘルパー		1				
4.11.21	採用	介護職員	1					
5.1.9	採用	ヘルパー		1				
5.3.1	採用	相談員			1			

非常勤職員 異動

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.4.1	異動	生活相談員	1					育秀苑より
4.12.12	異動	生活支援員				1		育秀苑より

非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
4.7.31	退職	介護職員	1					
4.9.30	退職	生活支援員				1		
5.1.31	退職	宿直員					1	

## 2022年度 職員研修

(外部研修参加一覧表)【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	感染拡大予防に関するオンライン研修(東京都)	特養	介護報酬請求事務に関する研修会(基礎編)
	感染症第7波の振り返りから第8波への感染拡大防止を目指して(東社協)		多職種で学ぶライフ加算マネジメント
	ファンディング研修～ファンを増やして福祉活動を成長させるファンディング基礎知識～(東社協)		ボランティア担当者基礎研修
	災害に関する研修会～熊本地震を体験した介護職の生の声に学ぶ～(高齢協)		感染拡大防止に関するオンライン研修
	特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修(高齢協)		介護報酬請求事務に関する研修(応用編)
	令和4年度介護現場におけるハラスメント対策(東京都)		令和4年度東京都高齢者権利擁護推進事業 高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」(短期入所)
管理課	ファンディング研修(東社協)	生活支援員	法人間連携研修(7回/年)
	災害に関する研修会(東社協)		知っておきたい接遇マナーのきほん
	高齢者施設等のBCP策定支援～BCP実践講座～		障がい者支援法を知る ～障害福祉サービスのポイントをおさえる～
訪問介護	令和4年度東京都高齢者権利擁護推進事業 高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」(訪問介護)		川島隆太郎オンラインセミナー 「いつまでも脳を元気に保つために」
	感染拡大予防に関するオンライン研修(東京都)		精神疾患の理解と対応 統合失調症と気分障害
医務	感染症第7波の振り返りから第8波への感染拡大防止を目指して(東社協)		高齢者と依存症と榎本クリニック
			信頼関係を築くための傾聴のコツ(榎本クリニック)
			今井塾!生活保護制度と低所得者施策
			信頼関係を築くための傾聴のコツ(榎本クリニック)
			今井塾!生活保護制度と低所得者施策

(施設内研修)【表2-②】

	研修名		研修名
4月	法令遵守・倫理・防災・権利擁護・高齢者虐待・身体拘束・感染症・リスクマネジメント・個人情報(法人)	10月	
5月		11月	感染症「冬季感染症対策について」
6月	リスクマネジメント「やさしい事故防止対策」 感染対策シュミレーション研修 防災「高齢者福祉施設において消防隊到着までに出来る事」	12月	
7月	感染症「感染症、食中毒予防対策」	1月	高齢者虐待防止「高齢者虐待防止の理解と取り組み」
8月	認知症「認知症ケア」	2月	看取り介護「看取りへのそれぞれの思い」
9月	看取り介護「看取り期における基本的ケアの知識と技術」 身体拘束適正化「身体拘束はなぜ問題なのか」	3月	リスクマネジメント「KYT 認知症高齢者の事故予防」 ハラスメント「厚労省動画 NO ハラスメントより」 感染対策シュミレーション「ガウンテクニック」 褥瘡予防対策「床ずれゼロを目指してWEBセミナー」 身体拘束適正化「スピーチロック」

感染症対策の為、書面や動画研修も併用実施。

## 2022年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓練内容
4月	BCP 机上訓練： BCP の内容について、震災発生時の参集基準などを説明し、事業継続計画への理解を深めた参加者 8名
5月	総合訓練（防災設備）： 優良防火対象物認定表示制度の更新審査に伴い、審査内容や防災設備の確認を行った参加者 8名
6月	夜間想定防災訓練： 優良防火対象物認定表示制度の更新審査に併せて、夜間想定防災訓練を実施 介護職員 2名、宿直員 1名の人員体制で 2 階給湯室での出火を想定した訓練を行った参加者 9名
7月	3 施設合同無線訓練： 福祉避難所に設置する無線機を使用して、3 施設合同での無線訓練を実施 震災発生時の被害状況報告の手順について訓練を行った 参加者 10名
8月	総合訓練（消防訓練）： 高齢者福祉施設において消防隊到着までに行えることを動画視聴により学んだ参加者 8名
9月	総合防災訓練①： 11月に実施する総合防災訓練の手順確認、見直しを協議した 参加者 8名
10月	総合防災訓練②： 総合防災訓練のシミュレーションを実施 参加者 8名
11月	※総合防災訓練中止： 総合防災訓練前日に施設内での新型コロナウイルス感染症の発症に伴い、総合防災訓練を延期 参加者なし
12月	災害備蓄・非常食の確認： 災害備蓄・非常食を確認する共にリストの見直しや必要な物品等を追加することを検討した参加者 8名
1月	BCP 机上訓練②： 全職員を対象として BCP を周知すると共に、今後に活かしたい内容や意見・感想を募り、BCP 見直しの検討資料とした 参加者 7名
2月	総合防災訓練③： 総合防災訓練のシミュレーションを実施 参加者 8名
3月	防災総合訓練④（羽沢町会と合同）： 羽沢町会と合同で防災訓練を実施。地震発生後に 2 階給湯室での出火を想定して訓練を行った 訓練終了後は羽沢町会の方と福祉避難所の開設手順や備蓄品の内容を確認した 参加者 13名、羽沢町会 1名

# 2022年度

## 第2育秀苑 介護老人福祉施設

### 短期入所生活介護事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人設立70周年を迎え、周年誌作成等を通じて育秀会の成り立ちに触れ、基本精神、基本理念の理解を深め、今後の少子高齢化問題、福祉人材不足問題等に地域の福祉拠点としてどのような活動を行っていくべきか、改めて職員全体で認識する機会となりました。
- ② 『笑顔と心で繋ぐ NEXT CHALLENGE』を令和4年度のミッションとしました。特養では行動目標を「ご利用者様とご家族や地域をつなぎ、皆の笑顔を大切にする」とし、朝礼での唱和や委員会での振り返りにより一層意識を高めるよう取り組みました。またコロナ禍での新しいレクリエーションの取り組みや地域ボランティアとの交流を継続的に取り組むことで、利用者や繋がりのある方々の笑顔を多く引き出すためのサービス提供を心がけました。
- ③ 昨年度に引き続き、面会制限（オンライン面会）や外出行事の規模を縮小してのサービス提供となりましたが、季節毎の行事や普段のご様子、ボランティアとの関わり、職員の研修等も含めてスタッフブログ、インスタグラムで定期的に配信し、施設の様子を多くの方に知っていただけるよう取り組みました。また家族には定期的にお手紙や写真をお送りし、生活の様子を細目に報告することで、施設での生活の様子がわかりご安心していただけるよう取り組みました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① BCPの見直しを随時行い、不測の事態が起こった際にも福祉拠点としての役割を果たし事業の継続、社会福祉活動の維持が出来るよう体制を整えました。また、職員一人一人に、事業継続の必要性を理解してもらえよう、研修や訓練を実施しました。
- ② 特別養護老人ホーム

2022年度年間稼働率は、90.2%（前年度97.2%）でした。前年度と比較すると稼働率が7%低下しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、入院者の延べ人数が54名と大幅に増えたことが主たる要因といえます。入退所の件数については、入所者21件、退所者23件（前年度8件）となり、新型コロナウイルス感染拡大は、入退所にも大きな影響を及ぼしたことは否めません。前年度同様、空床期間はショートステイの受け入れについて検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大によるショートステイ受け入れ中止期間も長く、十分な実施には至りませんでした。よって、特養・ショートステイの総ベッド稼働率は、89.3%（前年度97.0%）に留まりました。

## ショートステイ

2022年度年間稼働率は72.1%（前年度89.1%）でした。7月、8月、9月、11月、12月に新型コロナウイルス感染症の発生があり、合計で51日間ショートステイ受け入れを中止したことが稼働率低下に大きく影響しました。新規利用者については26名（前年度21名）と順調に伸びています。職種間で連携しながら施設全体で、前向きに受入れできている結果と思われます。今後も感染症対策を徹底しながら新規利用者の獲得、定期利用者の確保に積極的に取り組んでいきます。

- ③ 施設における活動内容の発信が重要と考え、ホームページやSNSを活用した情報発信の強化に努めました。ホームページを中心に、広報誌、周年誌へ利用者の写真を使用する際には事前に家族より聞き取りを行った情報を元に担当者が毎回チェックを行う等、管理徹底を行いました。
- ④ 新たに立ち上げたデジタル活用委員会のメンバーを中心に、今年度導入したナースコールシステム及び見守り機器の選定から活用方法等を検討し、ICTを取り入れた業務フローの見直しを行い、業務の効率化及びケアの質の向上を図りました。
- ④ 委員会や会議等を通じて法令や倫理、行動規範の浸透や情報管理の重要性について理解を深めました。最新情報を提供し学ぶ機会を持つことで、組織としてのあるべき姿を周知、定着させて職員の行動に結び付けていきました。

### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 東京都高齢者権利擁護研修への参加や施設内での身体拘束適正化研修、虐待防止研修などの実施により、個人の尊厳を守る福祉サービスの提供に努めました。
- ② 業務の効率化と負担軽減を目的として、東京都次世代介護機器導入事業を活用し、ナースコールシステムの更新や通信環境の整備、見守り支援機器を導入しました。今後実践的な運用を開始し、ケアの質の向上とQOL向上に取り組んで参ります。また、経年劣化による介護機器や周辺機器の更新を行い、日常生活や看取り期における環境整備に取り組みました。
- ③ 職員は7月と1月に虐待の芽チェックリスト実施し、1月に家族に対して満足度アンケートを実施しました。実施した結果については、サービス向上委員会等で職員に周知するとともに、より良いサービスの提供についてそれぞれの部署内の対応を見直し、サービスの質の向上に取り組みました。また3月に第三者評価を受審し、公表することで安心してサービスを受けていただける環境作りを継続して行いました。

### 4 福祉人材への取り組み

- ① 就職フェアなどへ積極的に参加し、人材確保に取り組みました。採用となった職員には丁寧な聞き取りを行い、できる限り本人の希望やこれまでの経験に見合った配置を行い、所属部署で活躍できるよう環境を整え、人材の定着に努めました。
- ② 法人のキャリアパス制度に沿って、求められる人材像を明確にしつつ具体的な取り組み内容と目標を定めることで職員の働き甲斐に繋がる環境作りを目指し、職員評価には複数名で行い、適正な評価に努めました。また、職員面談等を実施し、精神的ケアにも取り組むことで、働きやすい職場環境の改善に取り組みました。

## 5 地域貢献への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の催しへの参加などはできませんでしたが、地域包括支援センターと連携し、地域ニーズの把握を行いました。ホームページ等を通じて施設の情報発信、公開を行い、開かれた施設作りに努めました。
- ② 新型コロナウイルス感染症の流行により、今年度も地域交流スペースを活用した地域住民との協働活動はできませんでしたが、再開に向けて設備管理等の準備を継続して行いました。
- ③ 練馬区のガイドラインに基づき、災害時の要援護者の受入れについて、会議や研修を通じて体制の確認を行いました。  
地域の方との合同防災訓練は感染症の影響により人数や内容を制限した形での実施となりました。また、地域防災への取り組みとして、福祉避難所（二次避難所）の開設や運営について意見交換を行いました。
- ④ 地域の保育園、小中学校からの職業体験の受入れや、職員派遣についても今年度は実施できませんでしたが、昨年度より引き続き、近隣保育園の園児や、地域の傾聴ボランティアグループと利用者の手紙のやり取りを行うなど交流を継続しました。また、社会福祉士、介護福祉士、教員免許取得希望者の介護等体験事業の受入れを継続して行い、次世代の福祉人材の育成に取り組みました。
- ⑤ 法人間連携研修に7回参加し、他法人の取り組み等からより良い施設作りについて学びました。また、他法人との情報交換等で関係強化に努め、今後の合同研修や地域行事の開催に向けた土台作りを行いました。

【表1】

## 特養稼働表

2023年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,500	1,400	93.3%
5月	1,550	1,387	89.5%
6月	1,500	1,419	94.6%
7月	1,550	1,509	97.4%
8月	1,550	1,455	93.9%
9月	1,500	1,345	89.7%
10月	1,550	1,468	94.7%
11月	1,500	1,459	97.3%
12月	1,550	1,213	78.3%
1月	1,500	1,289	83.2%
2月	1,400	1,171	83.6%
3月	1,550	1,348	87.0%
合計	18,200	16,463	平均 90.2%

(前年度平均 97.2%)

【表2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2023年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所								
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計	
4月	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	50	0	0	2	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	4
6月	48	0	0	3	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2
7月	50	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	3
8月	48	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	47	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2
10月	46	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	49	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2
12月	48	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
1月	46	1	0	2	1	4	1	3	0	0	0	0	0	0	4
2月	46	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	3
3月	44	1	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	572	5	0	14	2	21	14	9	0	0	0	0	0	0	23

○2022年度の死亡退所者は14名、内10名は苑で看取りました。



【表3】

## 年齢・性別一覧

2023年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	1	1	2
75歳以上80歳未満	0	1	1
80歳以上85歳未満	4	1	5
85歳以上90歳未満	1	13	14
90歳以上95歳未満	0	10	10
95歳以上100歳未満	5	9	14
100歳以上	0	2	2
計	11	37	48
平均年齢	88.6 (88.4)	91.4 (89.9)	90.8 (89.6)

( )内は前年度

○昨年比、男女共に平均年齢が上がりました。

○最高齢 104歳・最年少 70歳

【表4】

## 要介護度構成

2023年3月31日現在

2022年3月31日現在		2023年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	0
要介護度 3	3	要介護度 3	5
要介護度 4	24	要介護度 4	25
要介護度 5	23	要介護度 5	18
計	50	計	48
平均	4.40	平均	4.27

※昨年比、平均要介護度が0.13下降しました。

【表5】

## 在所期間

2023年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	7	11	18
1年以上2年未満	1	5	6
2年以上3年未満	1	4	5
3年以上4年未満	0	4	4
4年以上5年未満	0	3	3
5年以上6年未満	0	4	4
6年以上7年未満	0	0	0
7年以上8年未満	1	0	1
8年以上9年未満	1	0	1
9年以上10年未満	1	3	4
10年以上	0	2	2
計	12	36	48

○在所期間が最長の方は12年1か月入所されています。

【表6】

＜身辺自立状況＞  
日常生活動作等の状況

2023年3月31日現在

入所者の 日常動作等 の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	21人 (21人)	21人 (21人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	14人 (14人)	7人 (7人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	30人 (30人)	18人 (18人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	38人 (36人)	8人 (13人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	11人 (7人)	37人 (43人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	37人 (40人)		自走:2人(2人)、一部介助:17人(17人)、全介助:21人(21人)
	認知症	47人 (46人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※ ( )内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計 306件 (391件)	208件 (287件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	98件 (104件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	1 (2)
転倒・転落・滑落	35 (27)
外傷	40 (37)
異食	6 (7)
誤嚥	0 (0)
誤薬	7 (3)
その他	10 (30)
計	99 (106)

※ ( )内は前年度の数字

【表8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2023年3月31日現在

	人数	検査内容
入所者の誕生日検診 実人数	60名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など） 延人数	13名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

(イ) 職員

	人数	対象者	検査内容
8月	49名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 腰痛健診（問診含む）・希望者は胃透視
3月	19名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重・腰痛健診（問診含む）

(ウ) インフルエンザ予防接種

入所者	45名
職員	48名

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

4回目	利用者	40名
	職員	42名

5回目	利用者	38名
	職員	35名

【表9】

## &lt;療養食&gt;

2023年3月31日現在

食種	糖尿食	減塩食
人数	0	2

【表10】

## &lt;行事食&gt;

・行事食実施回数 年23回

2023年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	1	お花見	桜ちらし、すまし汁、菜ばなの胡麻和え、苺ババロア おやつ：桜まんじゅう
5	5	子供の日	オムライス、コンソメスープ、エビフライ、フルーツ おやつ：鯉のぼりまんじゅうor焼き切り
	9	母の日	ちらし寿司、すまし汁、竹の子とあさりの酢味噌和え、フルーツ おやつ：ねりきり（カーネーション）
6	20	父の日	天井、すまし汁、わかめと胡瓜の酢の物、フルーツ おやつ：ねりきり（黄のバラ）
7	7	七夕	七夕そうめん、五目玉子焼き、冬瓜のくずあん、フルーツ おやつ：夏のねりきり
	28	土用の丑の日	鰻ちらし、すまし汁、切昆布の煮物、フルーツ
	8	納涼祭	焼きそば、和風サラダ、チョコバナナ おやつ：アイスクリーム
8	15	終戦記念日	十五穀ご飯、けんちん汁、精進揚げ、ほうれん草のお浸し、抹茶水羊羹小豆がけ
9	12	敬老会	栗おこわ、吸物、天ぷら、松風焼き、炊き合わせ、紅白なます、南瓜ムース おやつ：寿の日饅頭
	21	十五夜	お月見そば、海老しんじょう、抹茶あんみつ おやつ：ねりきり（うさぎの月）
10	23	秋のお彼岸	おはぎ、豚汁、冬瓜のカニ風味あんかけ、酢味噌和え
11	3	文化の日	吹き寄せ御飯、吸物、さんまの塩焼き、柿なます、マロンババロア おやつ：ねりきり（秋の彩）
12	22	冬至	ご飯、粕汁、鱈の山椒焼き、かぼちゃのいとし煮、かぶの柚子和え
	24	クリスマス	チキンライス、コンソメスープ、ミートローフ、シーフードサラダ おやつ：サンタ饅頭orリース焼き切り
	31	大晦日	年越し蕎麦、筑前煮、フルーツ
1	1	正月祝膳	五目ちらし寿司、吸物、ぶりの照り焼き、紅白なます、伊達巻、炊き合せ、かまぼこ、デザート おやつ：まんじゅう（雪花うさぎ）
	2	ミニ祝膳	赤飯、味噌汁、赤魚の塩焼き、里芋のそぼろあん、フルーツ おやつ：上用まんじゅう（干支）
	7	七草	七草粥、いわし蒲焼、白菜のごままぶし、梅干し
	11	鏡開き	三色もちもどき（小豆、ゴマ、きなこ）、豚汁、あさりとわけぎのぬた、フルーツポンチ
2	3	節分	のり巻き、いなり寿司、粕汁、南瓜のいとし煮、大豆の五目煮 おやつ：ねりきり（赤鬼）
	14	バレンタインデー	菜飯、味噌汁、ハートのミートコロッケ、いんげんと竹輪の炒め煮、チョコババロア（いちごのせ）
3	3	ひな祭り	ひなちらし、吸い物、ふきの炒り煮、菜の花の酢味噌和え、白桃羹 おやつ：おびな・めびなまんじゅう
	21	春のお彼岸	三色おはぎ、けんちん汁、ふきの煮物、いちごミルク

## その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（月2回）

【表11】

## &lt;家族との連携状況&gt;

2022年度

(1) 月別の面会状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	4	7	28	20	1	5	20	27	0	2	6	31

計 151人 月平均 13人

※6/17～7/24まで対面式面会及びZOOM面会実施。  
 ※10/11～12/4まで対面式面会及びZOOM面会実施。  
 ※1/18～2/16までZOOM面会のみ実施。  
 ※2/17～3/31まで対面式面会及びZOOM面会実施。

- (2) 外泊の状況について  
 ○ 外泊者は0名でした。

- (3) 家族との連絡  
 ○ 定期的連絡 年12回(毎月の利用者の様子、行事等のお知らせを送付)  
 ○ 介護保険に関する連絡 随時  
 ○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時  
 ○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

【表12】

## &lt;実習生の受け入れ状況&gt;

2023年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
上智大学	社会福祉士取得	1人	30日	包括・特養
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	2人	29日	特養
日本福祉教育専門学校	社会福祉士取得	1人	26日	包括・特養
東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士取得	1人	20日	特養
日本体育大学	教職介護等体験	1人	5日	特養
二松学舎大学	教職介護等体験	1人	5日	特養
計		7人	115日	

## &lt;地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動&gt;

2023年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
縫い物グループ	介護用品小物作成・利用者衣類修理	0人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会・イベント紹介	0人	無
書道教室	書道指導	0人	無
配膳ボランティア	ホーム喫茶	0人	無
ドッグセラピー	ドッグセラピー(犬4頭)	0人	無
音楽療法	音楽療法	0人	有
ハンドケアボランティア	ハンドマッサージ・傾聴	0人	無
傾聴ボランティア	傾聴	0人	無
傾聴レクボランティア	傾聴・レク	0人	無
介護サポーター	介護補助	0人	無
行事ボランティア	行事アトラクション	0人	無

【表13】

## &lt;クラブ(サークル)参加状況&gt;

2023年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	0名	職員	無	無
手工芸	0名	職員	無	随時

【表14】

## 2022年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	～末日		花見	作成した菜の花の花びらを、模造紙の茎の部分に貼っていきました。たんぽぽや蝶を作成し張り、それを背景にお一人ずつ写真撮影を行いました。
5	1～5	日～木	端午の節句	五月人形と、こいのぼりを飾りました。鯉の鱗にご利用者の手形をペイントして貼り付けました。菖蒲湯を行い、菖蒲の香りを感じて頂きながら入浴を行いました(5/3～5)。
	8	日	母の日	2階、3階各フロアにて和菓子と煎茶をふるまい、お茶会を開催しました。テーブルにカーネーションを飾り、職員から感謝の言葉を伝えたり、母の日にちなんだお話しをして、記念撮影とお祝いをしました。
6	19	日	父の日	当日までに、ひまわりの造花を作成しました。ご利用者皆様にミニブーケとともに写真撮影を行いました。バラの練り切りを利用者皆様で召し上がって頂きました。
7	7	木	七夕	事前に短冊・七夕飾りを利用者様と一緒に作成しました。当日は笹を間近に眺めながら、七夕の由来や物語を説明し、短冊を紹介しました。
7	24	日	納涼祭	施設内における新型コロナ感染症蔓延防止策として中止。
5～9			アサガオ栽培鑑賞	5月下旬から1階花壇、2階・3階フロアバルコニーにてアサガオを育てました。生育する過程から鑑賞するまでを楽しむことが出来ました。
9	19	月	敬老祝賀会	長寿者の健康長寿を利用者様と祝い、式典・祝膳を楽しんで頂きました。今年度節目を迎えられる利用者様を紹介し賞状をお渡ししました。
10	15～31		秋の外気浴	1階中庭鑑賞を楽しみながらお茶の時間を設けました。
11	6～20		利用者作品展覧会	1年間を通して利用者様が作成した作品を展示しました。四季折々の作品を展示し、鑑賞し振り返ることで季節を感じ、楽しんでいただきました。あるご利用者が通年作った折り鶴を利用して平和の樹や虹などの作品も作ることができました。
12	25	日	クリスマス会	サンタクロースによるクリスマスプレゼントのお渡し会と記念撮影を行いました。サンタ・ツリーのお饅頭を用意しその雰囲気を楽しみました。
12	20～22	火～木	冬至(ゆず湯)	湯船に柚子を浮かべ、柚子の入浴剤も使用することで、色や香りで柚子湯を堪能していただきました。
1	1	日	新年祝賀会	厨房職員手作りのおせち料理を頂き、新年のお祝いをしました。
1	8	日	新年会	年初めの行事として鳥居を設置し、お賽銭やおみくじを引いて頂き、記念撮影をしました。
2	3	金	節分	鬼に扮した職員が練り歩き、丸めた新聞紙を豆にして撒いて頂きました。招福と健康祈願を行いました。
3	3	金	ひな祭り	雛人形を飾り、ちらし寿司やひな饅頭を召し上がり、桃の節句を祝いました。桃の花を飾り季節感を味わいました。

通 年	金管楽器音楽会		感染症予防対策のため未実施
	誕生日会	各誕生日	各利用者の誕生日当日に誕生日カードをお渡しし、みんなでお祝いをしました。
	ドックセラピー		感染症予防対策のため未実施
	被服販売会		感染症予防対策のため未実施

【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能日数	利用数	利用率	
4月	180	135	75.0%	100	8	8.0%	2
5月	186	136	73.1%	163	22	13.5%	2
6月	180	135	75.0%	81	2	2.5%	2
7月	186	128	68.8%	41	0	0%	1
8月	186	139	74.7%	95	2	2.1%	2
9月	180	106	58.9%	155	55	35.5%	3
10月	186	133	71.5%	82	16	19.5%	1
11月	180	138	76.7%	41	0	0%	3
12月	186	69	37.1%	337	0	0%	1
1月	186	164	88.2%	261	9	3.4%	1
2月	168	131	78.0%	229	35	15.3%	4
3月	186	164	88.2%	202	55	27.2%	4
合計	2,190	1,578	平均 72.1%	1,787	204	平均 11.4%	26名
	(前年度平均 89.1%)			(前年度平均 25.9%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1/ 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	14	13	18	43	45	10	143
5月	0	11	23	4	44	62	14	158
6月	0	12	27	8	22	60	8	137
7月	0	6	31	9	26	48	8	128
8月	0	4	28	12	19	55	23	141
9月	0	0	36	13	31	56	25	161
10月	0	0	34	17	31	46	21	149
11月	0	0	39	11	29	43	16	138
12月	0	4	19	10	6	24	6	69
1月	0	4	55	27	11	67	9	173
2月	3	13	34	21	22	71	2	166
3月	16	0	36	22	19	121	5	219
合計	19	68	375	172	303	698	147	1,782
%	1.1%	3.8%	21.0%	9.7%	17.0%	39.2%	8.2%	100%

# 2022年度

## 第2育秀苑訪問介護事業 事業報告

### 2022年度の重点課題

#### 1 育秀会ブランドの確立

- ① ホームヘルプサービス事業総会は、感染対策をしながら開催しました。悉皆研修を行い理念に基づいたサービス提供のため、訪問介護員に再確認してもらえるよう努めました。
- ② 第2育秀苑のミッション『笑顔と心でつなぐNEXT CHALLENGE』を遂行するため、訪問介護では「笑顔と真心を込めたサービスを行い、利用者・家族との信頼関係の構築に努めます」と定め取り組みました。利用者の話を傾聴し、笑顔で心のこもったサービスを行うことで、利用者、家族、各関係機関と信頼関係を築けるよう努めました。
- ③ 合同サービス提供責任者会議において、情報共有等を行い事業所間の標準化を図りました。また、ホームページやインスタグラムで、ホームヘルプサービス事業の取り組みや日常の様子等を身近に感じて頂けるような内容で発信しました。

#### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 日頃より感染予防策を訪問介護員にも周知し徹底することで、利用者、家族、職員の安全確保に努めました。予測の付かない感染症や災害時において、必要なサービスが提供できるよう作成したBCPの見直しを実施しました。
- ② 定期的なアセスメントを実施し状態や状況の変化をケアマネジャーに報告し、その時に見合ったサービス内容の提案に努めた結果、毎月新規の利用者の紹介をいただくことができました。新型コロナウイルス感染症に罹患し、入院によりそのまま終了となるケースや施設への入所で終了となるケース、また骨折が原因で入院し休止が続くケース等が多くありました。稼働時間数が減少する傾向にありましたが、新規利用者の紹介をいただくことで令和5年3月末時点の登録者数は140件に持ち直しました。
- ③ サービス提供責任者は、必要書類の確認や事例検討を行い、重要なことはヘルパー通信等で訪問介護員に周知させ、改めてコンプライアンスに基づいた質の高いサービスが提供できるように努めました。
- ④ 個人情報の取扱いについては、悉皆研修において訪問介護員への意識向上を図りました。

#### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 権利擁護や認知症ケア等の研修で理解を深めた上でサービスの提供を行いました。また、定期的なアセスメントの実施により、個々のニーズに合ったサービスを行うことで住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援しました。



- ② お客様アンケートを実施し、回収率は約 60%となりましたが、サービス提供内容については 70%以上の方に「満足している」との回答を得ることができました。その他のご意見等を踏まえ、利用者のニーズに応えられるよう改善策を検討しました。また半期に一度、訪問介護員の業務遂行能力や勤務状況などに応じて個々の活動の評価を実施し、評価結果に基づく処遇改善を行いました。
- ③ サービス提供責任者は苑内外の研修に参加して知識の習得に努めました。訪問介護員へはオンライン研修や書面研修等の様々な形で研修を実施し、サービスの質の向上に努めました。また、練馬区の資格取得受講料助成制度などの情報を提供し、資格取得に繋がる支援を行いました。

#### 4 福祉人材への取り組み

- ① 入職したばかりの訪問介護員に対しては、不安なく業務が行えるようになるまでサービス提供責任者が同行してOJTによる研修を実施しました。サービス提供が困難なケースでは、サービス内容が落ち着くまで同行し訪問介護員への負担が大きくなるないように配慮しました。
- ② 職員それぞれに合った働き方の検討・提案を行うことで、働きやすい職場環境づくりに努めました。また、訪問介護員が家庭と仕事の両立ができるよう、気軽に相談の出来る環境を整えました。
- ③ 訪問介護員とのコミュニケーションを大切にし、相談の申し出があった時には話を聴き身体面や精神的な負担が軽くなるよう努めました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 地域の事業所と連携を図り、多様なニーズに応えられるようサービスの提供を実施しました。今後も「日常生活支援総合事業」を含め、地域の方に訪問介護への理解を深めて頂き、住み慣れた地域や自宅での生活が安心して継続できるようサービス提供していきます。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実習生の受け入れは行わず、次年度以降の準備期間としました。
- ③ 施設が実施する大規模災害に備えた災害時の想定訓練に参加しました。

【表1】

## 登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	124	127	123	119	118	122	123	123	126	123	125	123	1,476 (1,551)	123 (129)
新規契約	3	5	4	4	2	6	5	4	5	4	5	4	51 (43)	4 (4)
入院	2	3	6	8	7	5	3	2	5	8	9	9	67 (65)	6 (5)
廃止	3	2	4	5	5	4	4	6	1	0	6	2	42 (54)	4 (5)
派遣時間	1,123.1	1,177.4	1,118.8	1,100.9	1,125.8	1,079.7	1,065.9	1,086.4	1,142.3	1,063.1	1,021.4	1,082.9	13,187.7 (14,664)	1,099 (1,142)

( )内は昨年度

【表2】

## サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	29.9%	28.3%	30.6%	32.0%	31.3%	33.3%	34.2%	30.8%	28.1%	29.1%	27.6%	26.8%	30.2%	29.4%
身体介護	31.8%	35.4%	32.4%	31.2%	31.8%	31.2%	34.0%	35.0%	37.7%	35.5%	36.0%	36.9%	34.1%	30.5%
身体生活	21.7%	20.2%	20.0%	20.4%	20.2%	19.6%	15.4%	17.5%	17.8%	19.2%	18.4%	17.5%	19.0%	23.4%
総合事業	16.6%	16.1%	17.0%	16.4%	16.7%	16.0%	16.5%	16.7%	16.4%	16.2%	17.9%	18.9%	16.8%	16.7%

【表3】

## 介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	8	10	7	9	8	7	6	7	10	8	10	8	98	109
要支援1	16	16	15	15	16	17	17	17	13	12	13	12	179	139
要支援2	17	16	17	12	12	13	14	15	17	19	18	19	189	211
要介護1	19	17	17	17	16	20	21	21	21	19	17	19	224	305
要介護2	39	41	40	38	39	37	35	34	34	34	35	34	440	490
要介護3	14	14	13	14	14	14	14	13	15	14	15	14	168	200
要介護4	3	3	4	3	3	3	6	7	7	7	7	7	60	32
要介護5	8	10	10	11	10	11	10	9	9	10	10	10	118	65
自費サービス	19	10	15	11	10	15	21	10	17	15	9	10	162	187
合計	143	137	138	130	128	137	144	133	143	138	134	133	1,638	1,738

2022年度

事業報告

第3育秀苑

# 2022年度

## 第3育秀苑事業報告

第3育秀苑ミッションを「より高い質の向上を目指して」とし、職員が研修で得た知識、技術を現場に活かし、質の高いケア、相談業務の実現に努めました。施設内研修を各委員会が担当することで職員のモチベーションアップ、委員会の活性化を図りました。

経営面では、新型コロナウイルス感染症発生による影響で、特別養護老人ホームとショートステイでは入所制限をかけたことによる減収、デイサービスでは利用を警戒することによる減収や営業活動の難しさがありました。特に、特別養護老人ホームで8・9月に発生した際は、入院調整に苦慮し利用者9名が施設内療養となりました。職員協力のもと事業所を越えた職員配置を行い事業継続することが出来ました。

前年度に引き続き練馬区内の施設で法人間連携研修を行い、各施設の取り組み発表、人材交流に参加しました。

「ねりま社会福祉法人等のネット」光が丘地区連絡会に参加し、共生社会実現に向けて、地域課題の共有を図りました。

地域介護講座を3月に開催しました。参加者から継続した開催を望まれる声を多数頂きました。

### 1. 職員配置の状況

2023年3月31日現在、常勤職員50名、非常勤職員47名、計97名体制で職員を配置しました。【表1-①】

### 2. 職員採用

2022年度の採用、退職は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員は新規採用0名、他部署への異動2名、退職者5名でした。
- 2) 非正規職員は新規採用13名、退職者8名でした。
- 3) 非常勤職員から正規職員への登用を1名行いました。

### 3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症予防のため施設内研修のほとんどを書面や動画を活用して行いました。また、オンラインや動画視聴を活用した外部研修に多数参加することができました。【表2】

### 4. 防災管理

1) 防災委員会を毎月1回開催し消火訓練、通報訓練、誘導訓練、総合訓練を繰り返し実施しました。施設内でクラスター発生のため1回中止、感染症対策のため書面での開催が1回となりました。【表3】

2) 土支田町会第一支会と防災協定を締結し、地域住民を交えた総合防災訓練を実施しました。

5. 施設整備

東京都の次世代介護機器導入支援補助金事業を活用し、職員及び利用者の負担軽減などに効果がある見守りセンサーを3台追加しました。

【表1-①】

## 2022年度 職員配置及び移動状況

## (1) 配置状況

特養 定員60名

ショート 定員6名

2023年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
施設長	1	1		
医師	1		2	内科、精神科
事務員		1(兼務1)	1	
介護支援専門員	1	1(兼務1)		
生活相談員	1	3		
介護職員	19	27(介護福祉士22)	7(介護福祉士4)	常勤換算31.1人
看護職員	3	2	4	常勤換算4.0人
管理栄養士	1	1	2	
調理職員				委託
機能訓練指導員	1	1		
清掃員			8(兼務1)	
宿直員			1	管理夜勤
計	29	37(兼務2)	25(兼務1)	

デイサービスセンター(認知)

定員 24名

2023年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
事務員		1(兼務1)		
生活相談員	1.2	2(兼務1)		
介護職員	4(看護職員含む)	2(兼務1)	6(兼務2)	常勤換算4.4人
看護職員		2(兼務2)	4(兼務4)	常勤換算1人
機能訓練指導員	1		1	
運転手			3(兼務2)	
計	7.2	8(兼務6)	14(兼務8)	

訪問介護事業所

2023年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	2	3		
ホームヘルパー		3(兼務3)	19(兼務2)	
計	3	7(兼務4)	19(兼務2)	

居宅介護支援事業所

2023年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
管理者	1	1(兼務1)		
介護支援専門員	2	3		
計	3	4(兼務1)		

地域包括支援センター

2023年3月31日現在

職種	基準	現人数		備考
		常勤	非常勤	
社会福祉士	1	1		
主任介護支援専門員	1	1		
保健師(看護師)	1	1		
訪問支援員	2	2		
プランナー	2	2		
事務員	1		1	
計	7	7	1	

合計	49.2	63(内兼務13)	58(兼務11)	
----	------	-----------	----------	--

【表1-②】

## (2)職員異動状況

## 常勤職員 異動

2023年3月31日現在

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.10.1	異動	介護職員	1						育秀苑へ
2023.3.1	異動	訪問支援員					1		桜台包括へ

## 常勤職員 退職

年月日	退職	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.5.1	退職	介護職員	1						
8.31	退職	看護職員	1						
2023.1.15	退職	事務員						1	
2.28	退職	サービス提供責任者			1				
3.31	退職	看護職員	1						

## 非常勤職員 採用

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.4.1	採用	管理栄養士	1						
5.1	採用	介護予防運動指導士		1					
6.1	採用	管理栄養士	1						
6.1	採用	クリーンスタッフ						1	
6.21	採用	機能訓練指導員		1					
8.1	採用	クリーンスタッフ						1	
8.1	採用	介護補助	1						
8.1	採用	ヘルパー			1				
8.26	採用	看護職員	1						
9.1	採用	ヘルパー			1				
10.14	採用	クリーンスタッフ						1	
12.1	採用	看護職員	1						
12.1	採用	看護職員	1						

## 非常勤職員 退職

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.6.29	退職	ヘルパー			1				
7.31	退職	クリーンスタッフ						1	
8.31	退職	介護職員	1						
8.31	退職	運転手		1					
9.30	退職	ヘルパー			1				
9.30	退職	クリーンスタッフ						1	
12.31	退職	機能訓練指導員		1					
2023.3.31	退職	クリーンスタッフ		1					

## 正規職員 登用

年月日	形態	職種	特養	デイ	ヘルプ	居宅	包括	管理課	備考
2022.5.1	登用	介護職員	1						非常勤⇒正規職員

## 2022 年度 職員研修

(外部研修参加一覧表) 【表 2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	TOKYO かいごチャレンジ説明会	居宅	年金制度のしくみと高齢者の所得保障
	ファンドレイジング研修		センター方式地域型基礎研修
	心のバリアフリー		認知症の方を介護する家族の支援
	採用力・広報力強化研修		ソーシャルワーク基礎研修 ～利用者や家族への対応力を磨く～
	災害に関する研修会		在宅療養に関する事例検討会
	人事考課セミナー		高齢化する障害者と家族の支援
	経営実態調査フォローアップ研修		介護現場におけるリハビリテーションの目的と目標の設定
	福祉サービスにおけるハラスメント研修会		けあまねひろばひかり 生活保護制度について学ぼう
	介護現場におけるハラスメント対策		多職種連携会議における薬局と居宅の連携を深める
	適切なケアマネジメント手法について		居宅介護計画書記載要領の確認を行いながら ケアマネジャーに求められていることを考える
	地域共生社会を考える		東京都入退院時連携強化研修
			他法人共同勉強会「F-SOAIIP」を知ろう
管理課	大規模震災直後の事業継続 ～地域住民の避難先になることを想定して～		介護保険認定調査員現認研修
特養	介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）		擁護者による高齢者虐待の防止と対応（在宅系サービス編）
	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修		身体拘束について立ち止まって考えよう
	ミールラウンドで管理栄養士が注意すべきポイント		けあまねひろばひかり 準備しておこう！地震が起こるその前に
	栄養ケア・マネジメント研修		けあまねひろばひかり 訪問看護との連携のため ICT を活用する
	ユニット型施設看護師研修		成年後見制度の内容・導入について学ぼう
	LIFE の活用方法と加算算定について学ぶ 「機能訓練指導員のための情報交換会」		カスタマーハラスメント研修
	ユニットリーダー研修		
	ケアプラン作成と LIFE 加算マネジメント	デイサービス	認知症実践者研修
	災害に関する研修会		認知症対応型デイサービス事業管理者研修
	多職種で学ぶ LIFE 加算マネジメント	訪問	高齢者虐待防止研修
	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）		
	生活相談員リスクマネジメント研修会		
	福祉サービスにおけるハラスメント研修会		
	適切なケアマネジメント手法について		
	食支援で知っておきたい実践術		
機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価			
生活相談員として原点回帰			
LIFE の意義と必要性			

(施設内研修) 【表 2-②】

	研修名		研修名
4 月	権利擁護・個人情報保護	10 月	BCP①（防災）
5 月	リスクマネジメント①	11 月	接遇
6 月	虐待防止・身体拘束廃止①		感染症予防②（冬季感染対策）
	ハラスメント①（職場）	12 月	BCP②・感染症対策シミュレーション②
7 月	感染症予防①（食中毒）	1 月	リスクマネジメント②
8 月	看取り介護①		認知症
	感染症対策シミュレーション①	2 月	ハラスメント②（介護現場）
9 月	褥瘡予防		虐待防止・身体拘束廃止②
	衛生講和	3 月	看取り介護②（公開講座）



## 2022 年度 防災訓練実施状況 【表 3】

実施月	訓 練 内 容
4 月	防災機器説明、拠点避難所、福祉拠点避難所： 消火器、消火栓、自動火災報知機、スプリンクラー止水等使用方法の確認 拠点避難所経路及び場所の確認、福祉拠点避難の説明 参加者 10 名
5 月	消火器及び散水栓の実放水訓練： 水消火器、散水栓を実際に使用した訓練を実施 参加者 20 名
6 月	福祉避難所図上訓練： 福祉避難所の位置付け、開設、受け入れの流れ机上訓練の実施 参加者 10 名
7 月	三施設合同無線機訓練： 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を実施 参加者 13 名
8 月	施設内でクラスター発生のため開催中止
9 月	非常時の対応について（コロナウイルス感染症陽性者発生のため書面開催）： BCP（事業継続計画）を書面にて回覧し、非常時の対応について回答を回収した
10 月	福祉避難所開設訓練： 福祉避難所開設時の設営訓練を実施 参加者 11 名
11 月	総合訓練（夜間想定）： 昼間に 4 階西ユニット出火を想定した訓練を実施 参加者 9 名
12 月	BCP 図上訓練、防災備蓄、非常食確認： BCP 図上訓練実施、防災備蓄、非常食の内容、使用方法を確認 参加者 9 名
1 月	避難訓練（地震対策）： BCP に基づいて地震発生時から発生後の図上訓練を実施 参加者 10 名
2 月	総合訓練（昼間想定）： 3 階東ユニット出火を想定した訓練を土支田町会と合同で実施 参加者 12 名、土支田第一支会 3 名、土支田町会 1 名
3 月	次年度防災計画立案： 今年度の振り返り、来年度の計画立案 参加者 7 名

# 2022年度

## 第3育秀苑 介護老人福祉施設

### 短期入所生活介護事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 地域の福祉拠点として自覚をもつべく、法人の基本精神・理念を再確認し、利用者の尊厳を守り、その人らしい生活を送れるよう支援しました。
- ② 施設のミッション「より高い質の向上を目指して」の実現に向け、全職員が個人目標を設定し具体的行動に移せるよう努めました。また、各委員会や多職種会議においても目標管理を行い、利用者の生活が安心・安全なものになるように取り組みました。
- ③ 合同会議において、各施設の状況把握に努め、情勢に対して適切な行動がとれるよう情報の共有と連携を図り、法人全体のサービスの標準化を図りました。
- ④ ホームページのスタッフブログを活用し、季節行事や保育園との交流などの様子を発信しました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 令和4年8月～9月、新型コロナウイルス感染症に利用者12名、職員6名が感染し、新規入所、ショートステイ受け入れを一時中止しました。第7波の時期で入院できた利用者は3名のみで、利用者9名は施設内療養となりました。
- ② 【特養】特養入所による年間稼働率は92.1%（前年度94.7%）で前年度比マイナス2.6%となりました。近隣で施設の新設が多く、入所申込者数が減少し、入所申込書が届いた時点で連絡をしても、既に他施設入所が決まっているという方も多くいました。新型コロナウイルス感染症発生に加え、入院者の増加も低迷した要因と考えられます。入院ベッドや空床ベッドは、多職種が協力し連携を密にとることでショートステイを積極的に受け入れることができ、特養ベッド稼働率は95.8%でした。  
【ショートステイ】正規ベット平均利用率88.1%、特養空きベット平均利用率47.1%、合計平均125.2%（前年度123.9%）と、前年度比プラス1.4%でした。  
特養の空床利用を行う事で、特養+ショートステイの総稼働率は95.1%（前年度97.3%）と、大幅な低下を防ぐことができました。
- ③ 利用者の体調変化を早期に発見し、適切な処置や早期の受診を行いました。食事前には多職種が協力し口腔体操を行い、誤嚥性肺炎の予防に努めました。
- ④ ショートステイの新規利用者は年間33名（月2.75名）で、目標の毎月2名を達成することが出来ました。緊急ショートステイ要請に対しても迅速な対応をとる事で、関係機関との信頼関係を構築する事ができました。
- ⑤ LIFE 関連加算の算定を計画的に行い、新たにADL維持等加算を算定する事ができました。

- ⑥ 個別面談を通して、各職員の能力や適性、既に取得している資格等を総合的に判断し、資格取得や研修への参加を促す事ができました。今年度は社会福祉主事1名、介護福祉士2名の資格取得に繋がりました。
- ⑦ デジタル活用委員会が中心となり、既存の ICT 機器やセンサー類の活用を行い、新たに記録用マイクを導入しました。各フロアのリーダー職が中心となり、勤務体系の見直しや、シフト調整を適宜実施し業務効率の向上に取り組みました。

### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 利用者の尊厳の尊重、権利擁護のため、利用者・家族の思いや意向の聞き取りに努め寄り添ったケアの実践に取り組みました。
- ② 毎月ケア会議を開催し、日々状態や体調が変わりやすい利用者のアセスメントを実施、ニーズを把握しケアプランに反映できるよう、個別ケアの推進に取り組みました。様々な視点から支援計画を立てることで、自立支援・重度化防止に努めました。
- ③ 居室担当が中心となり、各利用者のアセスメントを実施、その方の生活状況やニーズを把握し、情報共有を行いました。また、適宜ミニカンファレンスを開催し、個別ケアの充実を図りました。利用者の状態に合ったケアの提供を心掛け、安心、安全な生活を実現できるよう努めました。
- ④ 利用者満足度調査においては、8割以上の項目で満足、やや満足との評価を頂きましたが、面会に関しての項目で不満、やや不満が2割という結果でした。オンライン面会に加えて、地域交流スペースで距離を置いた面会を実施しましたが、時間制限の拡大、居室での面会、外出などの要望が多くありました。第三者評価、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックリスト、接遇チェックリストを実施しました。
- ⑤ 係長、主任による個別面談を通して、職員の専門性や将来像を鑑み、外部研修に積極的に参加し、サービスの質の向上、職員のモチベーション向上に繋げる事ができました。

### 4 福祉人材への取り組み

- ① 出産、育児、介護が必要な職員に対し、個別面談を行い無理なく勤務できるようシフト調整を行いました。今年度は男性の育児休暇制度を2名利用する事が出来ました。
- ② 福祉需要の増加に対して知識を深め、自己研鑽出来るよう資格取得に関する情報提供や、実習が必要な場合はシフト調整を行うことで、資格が取得しやすい環境を整えました。
- ③ 年2回の職員面談に加え、希望時には適宜面談を行い悩みや相談を聴取し、改善・配慮を行うことで、職場環境を理由とした離職者なく終える事ができました。

### 5 地域貢献への取り組み

- ① 土支田町会の協力を頂き地域の方4名が参加した総合防災訓練を行いました。
- ② 土支田保育園との交流は今年度も感染症予防に配慮し2回持つことが出来ました。大泉学園中学校の生徒6名の職場体験授業を受け入れました。

【表1】

## 特養稼働表

2023年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,719	95.5%
5月	1,860	1,757	94.5%
6月	1,800	1,684	93.6%
7月	1,860	1,797	96.6%
8月	1,860	1,729	93.0%
9月	1,800	1,604	89.1%
10月	1,860	1,642	88.3%
11月	1,800	1,605	89.2%
12月	1,860	1,677	90.2%
1月	1,860	1,671	89.8%
2月	1,680	1,525	90.8%
3月	1,860	1,767	95.0%
合計	21,900	20,177	平均 92.1%

(前年度平均94.7%)

【表2】

## 在籍状況及び理由別入退所状況

2023年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	59	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
5月	60	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2
6月	59	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
7月	59	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
8月	59	1	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	4
9月	56	3	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	58	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2
11月	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	57	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
1月	54	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	55	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	59	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	2
計	692	11	2	4	0	17	11	5	0	0	1	1	0	18

○2022年度の死亡退所者は11名、内7名を苑で看取りました。

【表3】

## 年齢・性別一覧

2023年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	1	0	1
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	1	0	1
75歳以上80歳未満	0	0	0
80歳以上85歳未満	1	14	15
85歳以上90歳未満	2	12	14
90歳以上95歳未満	3	15	18
95歳以上100歳未満	2	7	9
100歳以上	0	1	1
計	10	49	59
平均年齢	93.2 (85.72)	86.93 (88.31)	88.0 (87.9)

○最高齢102歳・最年少58歳

( )内は前年度

【表4】

## 要介護度構成

2023年3月31日現在

2022年3月31日現在		2023年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	0
要介護度 3	10	要介護度 3	11
要介護度 4	31	要介護度 4	35
要介護度 5	18	要介護度 5	13
計	59	計	59
平均	4.14	平均	4.03

【表5】

## 在所期間

2023年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	3	13	16
1年以上2年未満	6	12	18
2年以上3年未満	1	9	10
3年以上4年未満	1	4	5
4年以上5年未満	0	2	2
5年以上6年未満	0	4	4
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	0	1	1
8年以上9年未満	0	0	0
9年以上10年未満	0	1	1
10年以上	0	0	0
計	11	48	59

○平均在所期間は、2年3か月です。

【表6】

＜身辺自立状況＞  
日常生活動作等の状況

2023年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	26 人 (20人)	19 人 (15人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	7 人 (11人)	10 人 (8人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	28 人 (32人)	15 人 (14人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	30 人 (33人)	14 人 (11人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	35 人 (35人)	21 人 (16人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	36 (3人)		自走:6人(17人)、一部介助:6人(2人)、全介助:23人(19人)
	認知症	35人 (41人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※ ( )内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計657件 (596件)	381件 (359件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	276件 (237件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	6 (10)
転倒・転落・滑落	72 (34)
外傷	151 (145)
異食	3 (3)
誤嚥	0 (0)
誤薬	5 (5)
その他	39 (37)
計	276 (234)

※ ( )内は前年度の数字

【表 8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

## (ア) 入所者

2023年3月31日現在

	人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診 実人数	56名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など 延人数	110名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

## (イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
8 月	63名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者は胃透視
8 月	42名	介護者	腰痛健診（問診含む）
3 月	39名	介護者	腰痛健診（問診含む）
3 月	23名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

## (ウ) インフルエンザ予防接種

入所者	56名
職 員	76名

## (エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

4回目	利用者	52名
	職 員	61名

5回目	利用者	51名
	職 員	54名

【表9】

&lt;療養食&gt;

2023年3月31日現在

対象者なし

【表10】

&lt;行事食&gt;

・行事食実施回数 年30回

2023年3月31日現在

月	日	行事名	内容
4	8	花祭り	三色おにぎり、さわらの木の芽焼き、炊き合わせ、ヨーグルト
5	5	端午の節句	いなり寿司、筑前煮、ほうれん草の白和え、抹茶パバロア小豆ソースかけ
	8	母の日	たけのご御飯、唐揚げ&卵焼き、山菜の煮浸し、パンナコッタ（花飾り）
6	19	父の日	鮭ちらし寿司、筑前煮、ほうれん草のお浸し、すまし汁
7	7	七夕	七夕そうめん、冬瓜のくず煮、七夕ゼリー
	14	納涼祭	焼きそば、じゃがバター、すいか、ジョア、やわらかたこ焼き
	23	土用の丑の日	うな井、白菜の甘酢和え、すまし汁
8	13	お盆	みょうがご飯、天ぷら盛り合わせ、モロヘイヤのポン酢和え、小豆ゼリー
	23	沖縄郷土料理	タコライス モズク酢 マンゴプリン
9	10	十五夜	月見うどん、里芋のきのこあん、杏仁ゼリー
	20	敬老会	赤飯（栗）、すまし汁、天ぷら、銀だら西京焼き、松風焼、炊合せ、紅白なます、水菓子
	26	秋の彼岸	おはぎ（3種）、すまし汁、ちぐさ焼、キャベツのおかか和え
10	11	新潟県郷土料理	醤油おこわ、鮭の漬け焼き、お麩の卵とじ、のっぺい汁、梨
	25	秋の味覚	菜飯、さんまの塩焼き、里芋のそぼろ煮、茄子のポン酢和え
	31	ハロウィン	サンドイッチ、かぼちゃシチュー、ブロッコリーのサラダ、チョコパバロア
11	10	秋の行楽弁当	いなり寿司（1種）、おにぎり（2種）、鶏のから揚げ、厚焼き卵、ポイルウインナー、香の物、ポテトサラダ、みかん
	24	握り寿司	握り寿司（まぐろ・サーモン・かんぱち）・ねぎとろ軍艦・いくら軍艦・穴子、すまし汁、ほうれん草の煮浸し、みかん
12	22	冬至	ご飯、鶏肉のバター醤油焼き、かぼちゃのいとこ煮、大根のゆず和え、抹茶パバロア
	24	クリスマス	ロールパン&クロワッサン、マカロニグラタン、花野菜サラダ、オレンジジュース
	25		チキンライス、エビフライ&クリームコロッケ、アスパラのサラダ、いちごムース
	31	大晦日	年越しそば（かき揚げ）、ほうれん草胡麻和え、ジョア
1	1	正月祝膳	赤飯、すまし汁、えびの旨煮、スモークサーモン、鶏肉の野菜巻、紅白かまぼこ伊達巻、さつまいもきんとん、紅白なます、炊合せ、黒豆、苺ロールケーキ
			ゆかりごはん、松風焼、茶碗蒸し、雑煮、みかん
	2	正月	初春ちらし、すまし汁、がんもと野菜の煮物、りんごのコンポート
			五目ご飯、ぶりの照り焼き、カリフラワーとオクラのゆず酢和え、豚汁
7	七草	七草粥、木の葉煮、ほうれん草のなめたけ和え、梅干し	
2	3	節分	恵方巻き、いわしのつみれ汁、ふろふき大根、昆布豆、みかん
	14	バレンタイン	ハート型コロッケ、さつま芋の甘煮、レタスのサラダ、チョコパバロア
3	3	ひな祭り	ちらし寿司、菜の花の和え物、すまし汁、苺ムース
	23	春のお彼岸	牡丹餅（3種）、筑前煮、菜の花の辛子和え、すまし汁

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）



【表11】

## ＜家族との連携状況＞

2022年度

## (1) 月別の面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	23	22	45	40	16	19	14	37	22	10	22	41

計311人 月平均 25.91人

## (2) 外泊の状況について

○ 外泊者はいませんでした。

## (3) 家族との連絡

○ 家族懇談会 ⇒ 中止

○ 定期的に連絡 ⇒ 月1回(請求書送付時に利用者の状況報告・趣味活動等の予定表を送付)

○ 介護保険に関する連絡 ⇒ 書面、個別対応

○ 利用者の健康状態などについての連絡 ⇒ 随時

○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 ⇒ 随時

【表12】

## ＜実習生の受け入れ状況＞

2023年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
大泉学園中学校	職場体験	6人	12日	
城北職業能力開発センター	援助能力向上	8人	9日	
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	1人	7日	
十文字学園女子大学	社会福祉士取得	4人	55日	
計		19人	83日	

## ＜地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動＞

2023年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
書道ボランティア	書道教室の手伝い	0人	無
ピアノボランティア	ピアノ伴奏	0人	無
土支田保育園	訪問交流	25人	無
八坂中学校	吹奏楽	0人	無
介護サポーター	趣味活動の手伝い・洗濯物整理等	0人	無
個人ボランティア	車椅子清掃・ユニットの清掃等	0人	無
東京福祉会	葬祭等相談・供養会	0人	無

【表13】

## ＜クラブ(サークル)参加状況＞

2023年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	2～4人/回	職員	有	各フロアで随時実施
フラワー	中止	ボランティア	有	中止
ピアノ	中止	ボランティア	有	中止
体操	月50人	理学療法士	有	週1回
いきいき美容室	中止	資生堂美容部員	有	中止

【表14】

2022年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内容
4	各フロア毎		お花見	リビングで飾りつけをしたり、施設周辺で外気浴を行い、季節感を感じて頂きました。
5	3～5		菖蒲湯	湯船に菖蒲を浮かべ、香りを楽しみながら菖蒲湯を楽しんで頂きました。
6	20	月	あじさいゼリー	季節の花をイメージしたゼリーを作り、間食で召し上がって頂きました。
7	24	日	花火鑑賞会	プロジェクターで大迫力の花火大会の映像を楽しみながら、アイスを食べて頂きました。
7～8	各フロア毎		スイカ割り	スイカ割りを皆様で楽しんだ後、一緒にスイカを食べて頂きました。
9	22	木	敬老祝賀会	フラワーアレンジメントとお花の練り切りをご用意し、米寿・卒寿・白寿のお祝いをしました。
10	27	木	紙芝居	紙芝居を見て懐かしみ、昔を思い出していただきました。
12	各フロア毎		クリスマス会	クリスマスソングを聞いたり、クリスマスプレゼント、ケーキをご用意し楽しんで頂きました。
	17		映画観賞会	チケットやポスターを準備し、プロジェクターでスクリーンに映し出し、映画館の雰囲気を味わって頂きました。
	21～24		(冬至)ゆず湯	湯船に大きな柚子を浮かべ、色や香りを感じて頂きながらゆず湯を楽しんで頂きました。
1	各フロア毎		鏡開き	やわらかもちでおしるこを作り、無病息災を願いました。
	各フロア毎		新年会	各フロアに手作り神社を設置し、おみくじを引いて、新しい1年を元気に健康で過ごせるようお参りをしました。
2	各フロア毎		節分行事	各フロアで、鬼に扮した職員に豆をまき、皆で無病息災を願いました。甘納豆や甘酒を召し上がりました。
3	各フロア毎		桃の節句	リビングの飾りつけや、桜あんみつを作り、季節感を味わって頂きました。

通 年	誕生会 誕生日外出	各誕生日	各フロアで色紙などを用意し、誕生日をお祝いしました。
	保育園との 交流会	9/21、11/8	土支田保育園園児とベランダ越しで、歌やダンス、手作りのプレゼントを交換しました。
	被服販売会	各利用者	感染症予防対策のため個別対応。
	児童館との 交流会		感染症予防対策のため未実施。
	家族交流会		感染症予防対策のため未実施。

【表15】

## ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規利用者数
	枠	利用日数	利用率(%)	利用可能日数	利用数	利用率(%)	
4月	180	169	93.9	81	31	38.3	2
5月	186	176	94.6	103	44	42.7	1
6月	180	182	101.1	116	41	35.3	2
7月	186	183	98.4	63	33	52.4	3
8月	186	119	64.0	131	34	26.0	0
9月	180	137	76.1	196	78	39.8	7
10月	186	160	86.0	218	78	35.8	2
11月	180	168	93.3	195	119	61.0	4
12月	186	149	80.1	183	98	53.6	5
1月	186	169	90.9	189	81	42.9	3
2月	168	145	86.3	155	101	65.2	3
3月	186	173	93.0	93	74	79.6	1
合計	2,190	1,930	88.1	1,723	812	平均 47.1	33名
	(前年度平均 92.7%)			(前年度平均 58.4%)			

【表16】

## ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	9	26	62	90	13	200
5月	0	0	0	27	101	82	10	220
6月	0	11	0	44	83	48	37	223
7月	0	0	4	48	113	43	8	216
8月	0	0	6	7	109	31	0	153
9月	0	3	0	31	109	31	41	215
10月	0	5	10	49	143	12	19	238
11月	0	11	51	38	150	34	3	287
12月	0	0	49	23	106	46	23	247
1月	0	7	31	28	98	46	40	250
2月	0	0	16	52	94	64	20	246
3月	0	0	49	38	134	21	5	247
合計	0	37	225	411	1,302	548	219	2,742
%	0.0%	1.3%	8.2%	15.0%	47.5%	20.0%	8.0%	100%

## 2022年度

### 第3 育秀苑認知症対応型通所介護事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を毎朝のミーティングで唱和、ミッションの確認を行い、利用者に寄り添い一人ひとりの人権を尊重した利用者本位の介護を行うよう努めました。
- ② 施設のミッション「より高い質の向上を目指して」を職員一人ひとりが個人目標を定め、具体的に取り組みました。
- ③ 行事・活動内容等を、ホームページやデイサービスセンターだより「マンスリーレインボー」に掲載し、家族、居宅介護支援事業所、地域住民に事業所の活動を発信しました。
- ④ 認知症対応型通所介護として、認知症高齢者が住み慣れた地域で生活ができるよう利用者、家族の相談助言を行いました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症発生状況については、5月利用者2名・職員2名、7月利用者1名・職員4名、12月利用者2名が感染しました。速やかに家族、ケアマネジャー、関係機関と連携を取り、適宜抗原検査を実施し感染拡大を防ぎ、通常営業に努めました。
- ② 1日の平均登録者数18名、平均利用者数15名を目指しましたが、それぞれ平均登録者数11名、平均利用者数9名に留まりました。原因として、新型コロナウイルス感染症による営業活動の難しさ、コロナ禍による利用控え、ショートステイの利用延長、利用者の機能低下による入院入所等によることがあげられます。
- ③ 送迎等の見直しを行い、適切な職員配置に努めました。
- ④ 介護福祉士資格保持者の安定により、2022年7月よりサービス提供体制加算（I）を取得しました。
- ⑤ 感染症の影響によりWEBや書面での研修が多くなりましたが、職員個々に研修報告を作成しケアの向上に努めました。

##### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 個人の尊厳を守り、認知症対応型通所介護として必要なケアを提供しました。
- ② 複数の職員と馴染みの関係性を構築し、利用者一人ひとりのニーズを把握し、通所介護計画書に反映させ、自立性の向上及び重度化防止に向けた支援を行いました。
- ③ 利用者満足度調査の結果は、28名送付23名回収、回収率88.5%でした。おおむね満足されているという回答が多く寄せられました。
- ④ 接遇チェックシート、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックを実施する

事により、各自意識することが出来ました。

- ⑤ 資格取得の情報提供やアドバイスを行い、介護福祉士1名の資格取得に繋がりました。

#### 4 福祉人材への取り組み

- ① 多様な働き方を受け入れ職員の経験や能力に合わせた育成に努めました。
- ② 朝夕の申し送り、申し送りノートを活用し情報共有を図り、職員間のコミュニケーションを良好に取り合い「職員が定着する職場作り」を目指しました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 地域住民を対象とする「介護学べるサロン」を12月、3月に定員を定め開催しました。「運営推進会議」は、9月（書面）、3月（対面）で行いました。
- ② 施設内の防災訓練を地域住民の方に参加していただき行いました。
- ③ 旭町第2保育園との交流会は、施設駐車場で歌やプレゼント交換を行い2回実施することが出来ました。

2022 年度新規及び平均利用者数【表 1】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	26	26	26	24	27	26	26	26	24	24	24	27	306
延べ利用者数(名)	269	250	247	210	217	236	241	259	226	219	231	246	2851
平均利用者数(名)	10.3	9.6	9.5	8.8	8.0	9.1	9.3	10.0	9.4	9.1	9.6	9.1	9.3
新規利用者数(名)	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
SPOT 利用者数(名)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
稼働率(%)	43.1	40.1	39.6	36.5	33.5	37.8	38.6	41.5	39.2	38.0	40.1	38.0	38.8

時間帯別延べ利用者数【表 2】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	時間帯別比率
3 時間-4 時間	1	0	1	1	0	3	1	1	0	2	1	0	11	0.39%
4 時間-5 時間	0	0	0	2	6	6	0	0	2	1	0	0	17	0.60%
5 時間-6 時間	88	77	73	55	60	65	61	67	62	66	64	66	804	28.2%
6 時間-7 時間	120	110	110	110	97	117	138	141	120	116	128	148	1,455	51.0%
7 時間-8 時間	60	63	63	42	54	45	41	50	42	34	38	32	564	19.8%
8 時間-9 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
9 時間-10 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
延べ利用者数	269	250	247	210	217	236	241	259	226	219	231	246	2,851	100%

介護度別利用者数【表 3】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	介護度別比率
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護 1	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45	14.6%
要介護 2	7	7	6	6	5	6	6	5	5	4	3	3	63	20.5%
要介護 3	10	10	9	8	7	9	8	10	10	9	10	10	110	35.7%
要介護 4	4	4	5	4	4	4	3	3	3	4	4	3	45	14.6%
要介護 5	5	5	5	5	4	3	3	3	4	2	3	3	45	14.6%
合計	29	29	28	27	24	26	24	25	26	23	24	23	308	100%

利用者 年齢構成【表 4】

年齢	男性(名)	女性(名)	合計(名)	利用者年齢構成比率
90 歳以上	0	8	8	34.8%
85 歳以上 89 歳以下	0	4	4	17.4%
80 歳以上 84 歳以下	0	3	3	13.0%
75 歳以上 79 歳以下	2	5	7	30.4%
70 歳以上 74 歳以下	0	0	0	0%
66 歳以上 69 歳以下	0	1	1	4.3%
64 歳以下	0	0	0	0%
合計	2	21	23	100%

## 2022年度

### 第3 育秀苑訪問介護事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人理念・基本精神をもとに、住み慣れた我が家で安心して過ごしていただけるよう利用者の持っている力を活かしたサービス提供を心がけ、少しでも長く利用者が望む在宅生活を送れるよう、ご家族、ケアマネジャーとの連携につとめました。
- ② 施設のミッション「より高い質の向上を目指して」を念頭に、利用者の健康状態や生活環境の小さな変化にも気付けるよう「観察の目」を持って支援し、関係機関ともこまめに情報共有を行う事で、利用者、家族に安心してサービスを利用していただけるように努めました。
- ③ 合同サービス提供責任者会議を年2回開催し、情報交換を行い施設間の共通認識を深めました。

##### 2 未来志向の経営の取り組み

- ① 新型コロナウイルス感染症に職員・職員家族が感染した際、すぐに必要な検査を実施する等の対応を行い早急にケアマネジャーへの報告、必要に応じ利用者、家族に報告しました。施設内に立ち寄らないヘルパーで対応することにより、不安を軽減し、サービスを継続することができました。
- ② 目標とした利用者数 100 名については、令和 5 年 3 月末の登録者数は 96 件（派遣数 87 件）となっています。「日常生活支援総合事業」については、自立支援に向けたサービスを提案し、地域包括支援センターのケアマネジャーからも評価を頂いています。適切な事業所運営、介護サービスの提供を行い、近隣の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等の信頼を得ることで新規利用者の増加を図り、毎月平均 2 件の新規利用者を受け入れました。
- ③ 合同就職相談会や面接会に参加し登録ヘルパーの増員に努め、3 名の増員となりましたが体調不良等で 2 名が退職となりました。

##### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 利用者の尊厳を尊重し、利用者主体のサービスを第一に、ケアマネジャーや家族と連携を図り、利用者の残存機能を少しでも維持できるよう支援内容を見直し、自立支援、重度化防止に取り組みました。
- ② ヘルパーに必要な知識や技術をヘルパーに指導することで、事業所としての質の向上に繋がりました。
- ③ 厚生労働省や東京都の留意事項を活用し、感染予防の徹底に努めました。
- ④ お客様アンケートを実施し、回収率は 70%でしたが、サービス提供内容については

80%以上の方に「満足している」という回答を頂きました。意見要望を参考に、意見に答えるようサービスの向上に努めました。

- ⑤ 接遇チェックシート、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックを定期的実施し振り返る事で、日々のサービスの向上に繋がるように努めました。
- ⑥ 認知症の方への対応力向上に向け、認知症理解について書面による研修を行いました。

#### 4 福祉人材への取り組み

- ① 計画的に有給休暇を取得するようヘルパーに働きかけ、有給休暇取得の推進に努めました。本人・家族の体調不良等の急な欠勤等もサービス提供責任者が対応できる体制を整え、安心して休日申請ができるように努めました。
- ② ヘルパーの稼働時間や日数など希望に添えるよう相談や調整に努め、ワークライフバランスの維持に努めました。
- ③ 今年度の資格取得者はいませんでした。ヘルパー研修時に情報提供や取得に向けてのアドバイスを行いました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① コロナ禍により地区祭の開催無く参加できませんでした。
- ② 練馬区介護予防・日常生活支援サービス従事者研修の修了者1名を受け入れました。
- ③ 施設で行う防災訓練に参加し、災害時の初動等について学びました。



【表1】

## 登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	97	97	96	98	95	95	96	96	96	97	94	94	1,151 (1,100)	96 (92)
新規契約	3	5	1	0	0	0	0	1	3	4	2	4	23 (29)	2 (2)
入院	6	3	3	3	1	1	2	2	2	2	0	0	25 (22)	2 (2)
廃止	1	4	5	1	3	3	0	1	2	6	0	0	26 (19)	2 (2)
派遣時間	666.2	697.0	698.5	691.0	718.3	698.8	656.5	680.5	612.2	501.3	508.8	599.9	7,728.9 (8,210.9)	644 (684)

( )内は昨年度

【表2】

## サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	36.9%	36.9%	35.6%	34.0%	36.0%	34.3%	34.8%	33.4%	33.1%	29.5%	24.0%	26.1%	32.9%	39.2%
身体介護	23.8%	23.8%	25.1%	27.9%	24.6%	23.1%	26.1%	24.4%	23.5%	25.9%	22.9%	28.8%	25.0%	21.0%
身体生活	23.8%	23.8%	22.9%	24.6%	23.5%	27.1%	28.1%	24.6%	25.3%	19.7%	25.1%	20.0%	24.0%	21.4%
総合事業	15.5%	15.5%	16.4%	13.5%	15.9%	15.5%	15.5%	17.7%	18.1%	25.0%	27.9%	25.1%	18.5%	18.4%

【表3】

## 介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	5	5	5	5	5	6	6	6	6	7	7	7	70	60
要支援1	11	10	8	8	8	8	9	9	9	11	13	12	116	133
要支援2	13	13	15	15	15	15	16	16	16	17	17	16	184	183
要介護1	18	20	20	18	19	17	15	17	17	20	18	17	216	246
要介護2	20	21	19	19	18	16	18	19	19	16	17	17	219	253
要介護3	8	9	11	12	11	11	10	9	9	7	8	9	114	91
要介護4	5	6	7	7	8	8	10	9	8	7	6	6	87	53
要介護5	6	6	5	4	4	4	3	3	3	2	2	2	44	53
自費サービス	2	1	3	6	4	3	3	3	4	1	2	1	33	71
合計	88	91	93	94	92	88	90	91	91	88	90	87	1,083	1,199

## 2022年度

### 第3 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

#### 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を基に、利用者およびその家族の意向に寄り添い、安心して楽しみのある在宅生活を継続していただけるよう居宅介護支援に取り組みました。また、福祉と医療のネットワーク強化として、サービス提供関係者と医療介護連携コミュニケーションツールを活用した連携を開始しました。
- ② 多職種連携会議や家族支援を考える研修に参加し、職員一人ひとりが利用者に寄り添った意思表示・自己決定支援を行い、ケアマネジメントをすすめミッション遂行しました。
- ③ オンライン等を活用した法人内の定例会議を開催、書式等の運用について検討を行い、法人内で情報共有を図りました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 「自然災害発生時における業務継続計画」及び「感染症発生時における業務継続計画」について、法人内で意見交換し昨年度からの見直しを行いました。
- ② 特定事業所として、地域包括支援センターから複数の問題を抱える等の支援困難なケースを4件受け入れるなどを含め、昨年度より担当件数は要支援63件、要介護23件増えました。また、外部研修に多数参加し、ケアマネジメントおよび事業所の運営に活用しました。

##### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 事業所内でケースについて、介護支援専門員としての自己決定支援、家族支援、権利擁護などの意識を深め、ケアマネジメントに取り組みました。
- ② 様々のケースへの対応力を身に着けるために、オンライン開催を含めた21の外部研修等に参加し、専門的知識の向上、地域事業所および多職種連携の強化に努めました。
- ③ 地域サービス事業所の新型コロナ感染状況の確認と発生時の対応について随時連携し、感染拡大防止に努めました。

##### 4 福祉人材への取り組み

- ① 朝礼や週1回の定例会議にて、ケアマネジメントの不安・悩み等を共有し、制度や社会資源の情報提供や、支援方針の検討等を行い、様々なケースに対応できる体制を取りました。
- ② 各々のケアマネジャーが課題に持つスキルや知識を向上できるよう、研修や勉強会の参加を積極的に進めました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 地域ケアセンター会議、圏域内の多職種・他法人との勉強会などの参加を通して、地域の特性や課題の把握に努め連携を深めました。
- ② 圏域の居宅介護支援事業所と事例検討会1回、合同勉強会1回を実施しました。
- ③ 介護支援専門員実務者研修生1名を受け入れ、保険者が行うケアプラン点検の協力者を2回実施し、ケアマネジメント支援等の育成に貢献しました。

要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	8	8	9	12	13	13	13	13	14	13	13	13	142 (79)
要介護1	29	27	27	25	26	27	27	27	25	27	25	28	320
要介護2	34	35	35	36	36	33	35	36	35	33	31	31	410
要介護3	18	19	21	24	22	22	24	22	21	17	17	17	244
要介護4	11	9	9	7	7	9	7	7	8	7	8	9	98
要介護5	7	6	6	4	4	4	4	3	4	4	3	3	52
介護合計	99	96	98	96	95	95	97	95	93	88	84	88	1,124 (1,101)

※ ( )内は前年度の数字

# 2022年度

## 練馬区委託事業地域包括支援センター事業報告

### (桜台・第2育秀苑・第3育秀苑)

#### 1. 事業運営の基本方針

地域住民の心身の健康保持、及び生活の安定のために必要な援助を行い、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活を継続できるよう包括的に支援することを目的として業務を行っています。新型コロナウイルス発生から3年以上経過した現在も終息には至っておらず感染症予防対策に取り組みながら、地域の高齢者やその家族、それらを取り巻く関係機関の総合相談窓口として活動してきました。その結果を報告します。

【表1】担当地域

担当地域	
桜台	桜台
第2育秀苑	旭丘・小竹町・羽沢・栄町
第3育秀苑	土支田・高松6丁目

#### 2. 主たる事業内容

##### 1) 総合相談業務

##### ①総合相談業務

地域の身近な相談窓口としての機能を果たすために、町会や民生委員、医療機関やサービス事業所への周知活動を行いました。また、介護に関する相談だけでなく、保健医療や福祉、生活に関することなど多様なニーズや相談を総合的に受け止め、必要な情報提供、多様な社会資源を有機的に結び付ける包括的な支援を行ってきました。

【表2】相談内容 総合相談件数実績 (単位：件)

相談内容別件数									
	施設	在宅福祉サービス	経済的事項	家庭的事項	住宅	介護保険	介護予防	その他	合計
桜台	207	410	114	159	69	1,473	3,273	612	6,317
第2育秀苑	189	568	230	459	19	1,277	3,367	881	6,990
第3育秀苑	228	128	54	87	39	832	3,432	1,339	6,139

【表 3】 相談手段別 総合相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	2,016	449	3,843	9	6,317
第2 育秀苑	1,698	349	4,919	24	6,990
第3 育秀苑	1,274	246	4,618	1	6,139

②地域におけるネットワーク構築

【表 4】 ネットワーク構築の為の活動

活動内容	
桜台	民生・児童委員との連絡会に出席(1回/月) 地域別民生委員との情報交換会(3回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体(つなぐ会)への参加 (2回/年)
第2 育秀苑	民生児童委員との連絡会に出席(1回/月) (令和4年度はコロナ感染予防の為、書面開催の月もあり。) 地区別民生委員との連絡会(1回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体(つなぐ会)への参加 (2回/年) 小竹町会防災会への参加(2回/年) 練馬圏域内の介護支援専門員支援のための研修開催 (年5回・Zoom開催) ※6 包括合同 燦の会への参加(1回/月) ※旭丘パークマンション自治会主催
第3 育秀苑	介護保険運協(3回/年) 光が丘圏域内の介護支援専門員のための研修企画、及び研修開催サポート (研修1回/準備8回) 地域民生委員との情報連絡会(5回/年) いきいき楽々会(12回/年) 自主活動支援

③安否確認

【表 5】 通報・安否確認件数実績

通報者	介護事業者、金融機関、 医療機関等	地域住民、自治会、 コンビニ等	安否確認 合計
桜台	5	14	19
第2 育秀苑	3	3	6
第3 育秀苑	4	2	6

## 2) 権利擁護事業

### ①高齢者虐待への対応

地域住民や民生委員、介護支援専門員だけでは解決できない困難事例や高齢者虐待、消費者被害の早期発見および地域住民からの相談の対応を行いました。区が開催するコア会議に出席し、虐待の有無の判定及び支援方針の決定と対応を行いました。

### ②成年後見制度の利用支援

成年後見制度、地域福祉権利擁護事業など、適切な制度が活用できるよう練馬区および社会福祉協議会と連携し、援助を行いました。

年6回、成年後見支援検討会議へ参加し、多職種と共に事例検討を行い、より良い支援に繋がる様に活動して参りました。

### ③消費者被害の防止

地域住民対象の勉強会、消費生活支援センターへの相談、助言を受けるなど被害防止の取り組みと、関係機関への周知活動・継続的な見守りを行いました。

【表6】権利擁護実績（単位：件）

権利擁護支援対応件数					
項目	虐待	成年後見	消費者被害	その他	合計
桜台	35	97	3	0	135
第2育秀苑	221	78	3	5	307
第3育秀苑	444	84	3	79	610

## 3) 包括的・総合的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援をするために、主治医や関係機関、介護支援専門員等との連携に努めた他、病院から在宅へ、サービスが途切れることなく利用できるよう、病院・薬局等の医療機関や介護支援専門員、サービス事業者等との調整を行いました。また、常に情報収集を行い、地域の介護支援専門員や民生委員との関係作りに努めました。

介護支援専門員については、個々の高齢者の状況に応じ、適切かつ継続的なサービスが提供される調整を担えるよう、介護支援専門員の資質の向上となることを意識した支援を行いました。また、困難事例については居宅介護支援事業所と緊密な連携を図り、より適切にかつ迅速な対応を目指し、介護支援専門員の後方支援を行いました。

【表7】包括的・継続的ケアマネジメント支援実績（単位：件）

包括的・継続的ケアマネジメント支援実績件数						
	連絡会の開催	プラン指導	サービス担当者会議開催支援	個別指導相談対応	その他	合計
桜台	0	6	7	80	2	95
第2育秀苑	0	3	8	106	7	124
第3育秀苑	0	10	6	167	172	355

#### 4) 在宅医療介護連携の推進

医療・介護推進員を1名配置し医療と介護の相談窓口を設置しました。

地域の有床病院の医療相談員との連携、地域の病院や医院とつながりを築き、高齢者が必要とする医療が受けられるよう、寄り添いながら支援を行いました。

【表8】医療・在宅療養相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	18	15	213	1	247
第2育秀苑	36	6	186	1	229
第3育秀苑	83	13	476	15	587

【表9】医療・在宅療養相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

相談者				相談内容				相談内容の連絡先			
項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3
本人・家族	39	89	260	受診に関する相談	65	56	130	解決	37	103	141
ケアマネジャー	7	27	15	入院に関する相談	41	34	85	新規紹介	62	20	55
病院	142	83	222	退院に関する相談	69	55	86	かかりつけ医	15	18	64
診療所	50	12	41	退院カンファレンスの参加	18	14	35	ケアマネジャー	16	29	59
介護サービス事業者	3	4	9	介護サービス等の相談	29	46	126	介護サービス	66	20	25
その他	7	14	30	その他	24	24	115	その他	30	39	233

### 5) 認知症施策の総合相談

認知症地域支援推進員を1名配置し、相談窓口を設置しました。

認知症地域支援チーム員会議に出席、認知症に関する講座を開催しました。

認知症になっても在宅で暮らし続けたい声に添い、地域づくりの取り組みを継続しています。新たに本人ミーティング、チームオレンジ、もの忘れ健診などの施策へも取り組みました。

【表 10】 本人ミーティング・チームオレンジ活動実績（単位：人）

本人ミーティング（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
しゃべり場	11	27
オレンジカフェ	10	23
チームオレンジ活動（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
てくてくの会（桜台近辺）	2	7
バプテスト教会	2	21
合計	25	78

本人ミーティング（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
栄町敬老館	10	31
チームオレンジ活動（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
開催無し	0	0
合計	10	31

本人ミーティング（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所	12回	71人
チームオレンジ活動（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所	12回	111人
土支田フロリストの会	3回	48人
げんき会（散策の）	7回	42人
合計	34回	272人



【表 11】 認知症施策相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
項目	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	17	13	64	0	94
第2育秀苑	18	7	64	0	89
第3育秀苑	15	6	66	3	90

【表 12】 認知症施策相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

	項目	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
相談者	本人・家族	40	44	51
	ケアマネジャー	9	12	7
	病院	28	20	16
	介護サービス事業者	5	2	3
	その他	12	11	11
相談内容	医療に関する相談	10	11	9
	入院に関する相談	4	11	17
	認知症症状および対応に関する相談	64	39	40
	生活機能障害	9	8	1
	生活支援・介護サービス等の相談	4	8	13
	権利擁護に関する相談	0	10	5
	その他	2	2	5
相談内容の連絡先	継続支援	40	51	42
	認知症専門相談の利用	15	0	7
	認知症専門病院	6	19	13
	かかりつけ医	6	4	7
	医療機関の新規案内	4	3	2
	ケアマネジャー	5	3	3
	介護保険サービス	17	2	1
	区福祉サービス	0	0	1
	権利擁護事業	1	3	0
	その他	0	4	8

## 6) 地域ケア会議

### ①地域ケア会議

- ア) 地域ケア個別会議では、個別のケース検討を通じ、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握やネットワーク構築を目的に概ね月1回感染対策を行い開催しました。
- イ) 地域ケア予防会議では、ケアマネジメントおよび専門職の資質向上を目的に、年2回練馬区で開催され、介護予防・生活支援サービスまたは訪問介護多回数のケースについて、自立支援・重度化防止およびより楽しみのある暮らしに向けて検討を行いました。今年度はコロナ感染症拡大の為、上半期は書面開催にて実施しました。
- ウ) 地域ケアセンター会議では、個別会議と予防会議を通じて抽出された地域課題について、地域の関係者で話し合いをしました。コロナ禍の開催のため書面開催または、人数制限等、感染予防対策を徹底して開催しました。

【表 13】 地域ケアセンター会議

	議題
桜台	「桜台に居場所を作ろう」 「桜台の資源マップを作ろう」
第2育秀苑	『これからの高齢者の集い場について』 『高齢者、障害者の避難支援を考える』
第3育秀苑	・高齢になっても認知症になっても住みやすい街づくり 第1弾 ・高齢になっても認知症になっても住みやすい街づくり 第2弾

## 7) 介護予防ケアマネジメント業務

### ①介護予防サービスの利用支援

要支援・要介護認定を受けていない区内在住の65歳以上で、区から送付された基本チェックリストにおいて介護予防事業への参加が必要と判断された方に対し、区が指定する事業（運動機能向上、栄養改善や口腔機能向上、いきがいデイサービス等）へのコロナ禍の社会情勢に合わせて参加支援を行いました。

### ②介護予防ケアマネジメント

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防・日常生活総合支援事業に該当する利用者および要支援1・2の認定を受けている利用者の心身の状況や置かれている環境を把握、生活課題を整理し、介護予防サービス計画を作成しました。緊急事態宣言中は、利用者・家族の意向を確認して、生活目標の達成に向けた支援・ケアマネジメントを行いました。

【表 14】 介護予防ケアマネジメント件数実績（単位：件）

介護予防ケアマネジメント件数					
	作成者別		サービス別		合計
	センター作成分	居宅委託分	予防給付	総合事業	
桜台	1,188	311	556	943	1,499
第2育秀苑	1,387	955	1,011	1331	2,342
第3育秀苑	909	484	602	791	1,393

8) 生活支援体制整備

生活支援サービスの充実に関する協議会に年2回、地域密着型連携支援事業における情報交換会に年2回参加し、地域活動支援をしている団体や事業所との連携体制を深めました。(桜台・第2育秀苑)

9) ひとり暮らし高齢者等訪問支援

【表15】ひとり暮らし高齢者等訪問支援人数実績(単位:人)

ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業対象の人数			総数
桜台	75歳以上	229	328
	65歳以上75歳未満	99	
第2育秀苑	75歳以上	195	312
	65歳以上75歳未満	117	
第3育秀苑	75歳以上	148	204
	65歳以上75歳未満	56	

【表16】訪問支援協力員の活動件数実績(単位:人)

		登録数	実施数	総数
桜台	訪問支援対象者	14	277	562
	協力員	11		
	センター職員対応	14	285	
第2育秀苑	訪問支援対象者	6	118	252
	協力員	4		
	センター職員対応	2	134	
第3育秀苑	訪問支援対象者	4	49	119
	協力員	2		
	センター職員対応	1	70	

10) 街かどケアカフェ

感染症対策を実施した上で、地域の高齢者の介護予防や交流、相談援助を目的とした集いの場や出張相談を開催しました。

【表 17】街かどケアカフェ実績

常設型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
街かどケアカフェさくら	133	782
出張型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
桜台地域集会所	47	612
桜台地区区民館	7	68
バプテスト教会	2	17(4)
桜台薬局	16	138
桜台4丁目薬局	12	78
カルーチェ	11	61
合計	65	741

出張型街かどケアカフェ（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
栄町敬老館	5	36
鶴の里ホール	11	116
旭丘地域集会所	8	70
小竹地域集会所	9	52
合計	33	274

出張型街かどケアカフェ（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所	11	175
土支田中央地域集会所	24	277
ウエルシア薬局	1	13
ファーマシー薬局	7	27
クリエイト土支田	1	6
クリエイト高松	1	8
寄来処	3	30
つつじ山児童遊園	1	20
スペースケア	1	13
ファミリーマート土支田	1	13
合計	39	582

### 1 1) 福祉用具貸出事業

病気やけがなどにより福祉用具が一時的に必要な方、購入前に試用してみたい方を対象として、1週間程度の貸出を行いました。使用に関する相談や、用具の点検、修理も随時行いました。

【表 18】 福祉用具貸与件数実績

	福祉用具貸与事業実績				
	車いす	シルバーカー	シャワーチェア	浴槽いす	その他
桜台	120	5	3	0	2
第2育秀苑	68	1	5	1	6
第3育秀苑	21	0	1	0	5

### 1 2) はつらつシニアクラブ

健康増進や介護予防に関する助言や活動勧奨を行いました。

### 1 3) その他

練馬区から依頼を受け、認定調査・ケアプラン点検を実施しました。  
練馬区が開催する会議への参加、各高齢者施策担当係と連携し事業運営の協力をしました。

## 3. 職員配置

【表 19】 職員配置人数

	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
法定三職種 主任介護支援専門員・社会福祉士・ 保健師（看護師）	3名	3名	3名
介護予防ケアマネジメント担当	2名	2名	2名
訪問支援員	2名	2名	2名
常設型カフェ職員	1名	—	—
事務員	0.5名	0.5名	0.5名
合計	8.5名	7.5名	7.5名

## 4. 定例会議

3 カ所の地域包括支援センターの知識や技術の向上と平準化を目的とし、専門職会議を開催しました。

【表 20】 会議開催回数

地域包括支援センター会議	2回（5月、1月）
リーダー会議（主任介護支援専門員）	12回（月1回開催）
保健師会議	4回（6月、9月、12月、3月）
社会福祉士会議	4回（5月、8月、11月、2月）
訪問支援員会議	4回（5月、9月、12月、3月）
介護予防ケアマネジメント担当会議	5回（5月、7月、9月、12月、3月）

## 5. 参加する研修会等

集合型、オンラインを含め、積極的に研修へ参加しました。

【表 21】研修参加状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桜台	東京都	0	1	4	6	1	2	3	2	1	0	0	2	22
	練馬区	3	0	0	0	6	1	5	1	2	0	1	3	22
	その他	0	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0	1	9
第2	東京都	0	3	4	2	4	2	3	2	0	0	0	0	20
	練馬区	3	1	4	1	0	0	6	0	1	3	3	0	22
	その他	0	2	0	0	2	3	1	1	1	0	0	2	12
第3	東京都	0	0	1	0	4	0	0	0	3	1	1	2	12
	練馬区	0	0	2	1	0	4	0	10	7	1	2	0	27
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

【表 22】研修参加一覧

桜台	第2 育秀苑	第3 育秀苑
けあまねりま研修	東京都権利擁護研修	東京ホームタウンプロジェクト
調査員現認研修	ひきこもり研修	地域医療課事例検討会
N-impro 研修	精神保健福祉基礎研修 I	重層的支援の研修
令和4年度 養護者による高齢者虐待対応研修(基礎研修)	認知行動療法基礎知識	市民後見人研修
情報セキュリティ研修	地域包括支援センター職員初任者研修	訪問支援員研修
令和4年度 東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	認知症地域支援推進員初任者研修	ちょい足し研修
令和4年度 区市町村職員等高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」	東京都入退院時連携強化研修	多職種連携研修
令和4年度 区市町村職員等高齢者権利擁護研修「擁護者による虐待研修(応用研修 A)」	東京都介護支援専門員専門研修 I	ヤングケアラー研修
順天堂練馬病院院内認定 褥瘡ケアコース①～④	高齢者権利擁護研修テーマ別研修「セルフ・ネグレクト」	圏域別地域カンファレンス 1
順天堂練馬病院院内認定 糖尿病看護コース①～④	今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障	圏域別地域カンファレンス 2
順天堂練馬病院院内認定 感染症看護コース	障害者への意思決定支援とは	令和4年度 東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)
令和4年度 豊玉ブロック地域精神保健福祉関係者連絡会	障害者総合支援法を知る	B C P 研修
令和4年度 認知症事例検討研修会(慈雲堂病院)	認知症ケア基礎研修	令和4年度 区市町村職員等高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」
今井塾！年金制度のしくみと高齢者の所得保障	やさしさを伝えるケア技術	令和4年度 区市町村職員等高齢者権利擁護研修「擁護者による虐待研修(応用研修 A)」
令和4年度 介護サービス事業者等集団指導について	自殺防止のゲートキーパーの役割	訪問看護コラボ研修
令和4年度 福祉用具サービス事務従事者講習会(基礎)	センター方式地域型基礎研修	訪問支援協力員フォローアップ研修
令和4年度 福祉用具サービス事務従事者講習会(福祉用具総論)	スーパービジョン研修	ひきこもり研修
令和4年度 福祉用具サービス事務従事者講習会	ヤングケアラーについて	キャラバンメイト研修

習会(排泄編、衣服、杖、歩行器)		
災害時のBCP～平時の備えとしてケアマネジャーの役割と連携を考えよう～	今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応	圏域カンファレンス全体会
福祉用具サービス事務従事者講習会(演習型) 高齢者のための環境整備	高次脳機能障害を知ろう	訪問看護コラボ研修
福祉用具サービス事務従事者講習会(演習型) 福祉用具利用のためのアセスメントとプランニング	若年性認知症のある方への支援の考え方とその実践	令和4年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修
デイサービス・デイケアにおける「口腔・栄養」関連の加算について 口腔・栄養加算を通して、ケアマネジメントの手法を知ろう	訪問支援員研修・連絡会	入退院連携研修
令和4年度 東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	地域カンファレンス	
令和4年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修総論編	地域ケア予防会議	
令和4年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修実践編Ⅰ 地域づくりによる介護予防研修第1～3回	今井塾！医療保険制度のしくみと後期高齢者医療保険制度	
令和4年度 区市町村介護予防事業担当者向け研修実践編Ⅱ 多様性・機能強化研修第3回	精神障害の理解と支援方法について	
行政職員・生活支援コーディネーター向け ケース勉強会 東京ホームタウンプロジェクト 新たな担い手と協働する	医療との連携を考える	
パワハラと指導の違いについて	知っておきたい成年後見制度	
依存症相談対応研修(ギャンブル等障害)	今井塾！生活保護制度と低所得施策	
在宅療養に関する事例検討会	いつまでも脳を元気に保つために	
災害時のBCP～平時の備えとケアマネの役割	在宅療養に関する研修	
自立支援重度化防止	ちょい足し研修	
スーパービジョン研修	けあまねりま研修「災害時のBCP」	
地域カンファレンス1	武蔵野病院市民セミナー「認知症について」	
地域カンファレンス2	ネリッシュ研修「ACPについて」	
海賊介護支援交流会	セルフネグレクトと社会資源	
カスタマーハラスメント研修	保健福祉関係機関合同研修会	
高齢者見守り事業強化連絡会	東京社会福祉士会基礎研修Ⅰ	

## 6. 2022年度の重点課題

### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 法人の理念・基本精神を基に、地域の福祉拠点として質の高い福祉サービスを提供できるよう地域に目を向け業務を行いました。
- ② それぞれの地域包括支援センターの強みを生かしたミッションを設定し、地域住民が安心して住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるように支援してきました。(表 13 参照)
- ③ 地域のセーフティネットとして地域課題に柔軟に対応し、必要に応じ地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステムを推進してきました。(表 13 参照)

### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① 地域包括支援センター内での OJT を継続的に実施し、対応力の向上を図りながら次世代の人材育成に取り組みました。
- ② リスクマネジメント対策の強化、BCP 研修へ参加し、包括独自の BCP を作成しました。
- ③ 法令、社会的ルールの法人内研修を積極的に受講、区のセキュリティ教材などを用いた研修を地域包括支援センター内で実施し、コンプライアンス、情報管理への意識を高めました。

### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 多様化する生活課題や福祉需要に対し、幅広く対応できるスキルを身に付けられるよう、それぞれの専門的技術の向上を図り、自立支援・重度化防止に取り組むため、経験・能力に応じた研修に参加しました(表 22 参照)
- ② すべての人の人権を尊重し、個々の尊厳を守る福祉サービスを提供できるよう、ひとりひとりの権利擁護に取り組みました。
- ③ 職場の ICT 環境を整えると共に、ZOOM などのオンライン会議ツールを積極的に活用し、感染予防の徹底、移動時間の短縮など業務の効率化を図りました。
- ④ 社会環境や地域住民のニーズに合わせた社会資源を発掘出来るよう、地域アセスメントを実施しました。
- ⑤ 地域包括支援センター間で職種毎に定期的に会議・評価、情報収集を行い、サービスの質の向上・平準化を図りました。

### 4 福祉人材への取り組み

- ① ハラスメントやメンタルヘルスの改善に取り組み、研修等に参加しました。
- ② 職員ごとの目標に沿った研修計画を立てスキルアップを目指しました。(表 21、表 22 参照) また、ワークライフバランスの充実を目指し有休の取得促進に努めました。
- ③ 職員間のコミュニケーションを円滑にする為に定期的にミーティングを開催し、職員が定着する職場を目指しました(表 20 参照)。また、法人内でも各専門職種会を開催し、各専門職種会には、今年度よりセンター長も参加しました。



## 5 地域貢献への取り組み

- ① 町会、民生・児童委員、老人会、地域の介護保険事業者と連携し、いつまでも住み慣れた我が家で安心して過ごせるよう、地域の見守り体制を構築しました（表 4 参照）
- ② 避難拠点連絡会などへの参加など、地域住民と協働して災害時の訓練を行い、発災時に安心・安全な生活の確保の為に取り組みました。
- ③ 地域の小中学校との交流や福祉教育、職場体験・実習生の受け入れを行い、地域福祉人材の裾野を広げる事は、感染拡大防止の為に実現出来ませんでした。
- ④ 地域住民を対象とする講演会に参加し、講師を行いました。
- ⑤ 区内の事業所などと連携し、地域ケア会議、合同研修の企画・開催を行い、積極的に職能団体などの活動へ参画しました。

# 2022年度 練馬区委託事業報告

## 高齢者世帯訪問支援業務

### 1. 事業運営の基本方針

65歳以上の者のみで構成される生活保護を受給している世帯に対し、居宅を訪問し生活状況の把握、日常生活における課題に対して助言を行うなどの支援また社会とのつながりが持てるようにその世帯が地域の中で孤立せず安心して暮らせるように支援を行いました。また、身体の衰えなどの理由により日常生活で介護などのサポートが必要となった方に対し、地域包括支援センター職員と連携し、介護保険制度の利用に繋げるなどの支援を行いました。その結果を報告します。

### 2. 主たる事業内容

#### (1) 定期訪問支援業務（4か月に1回実施）

	担当地域	担当世帯数
桜台	桜台1～6丁目・練馬2丁目	266
第2育秀苑	栄町、旭丘1丁目・2丁目、羽沢1丁目～3丁目、小竹町1丁目・2丁目、豊玉上1丁目・2丁目・豊玉北1丁目・2丁目	259

※感染予防を実施しながら個別訪問を行いました。

#### ① 人と社会の繋がりが保てるように働きかけを行う支援

	達成人数	継続支援（手段）
桜台	2人	3人（定期訪問・ケアカフェへの参加）
第2育秀苑	0人	8人（定期訪問）

- ② 健康寿命の延伸に関する支援では、全ての方に健康診断の勧奨を行いました。また、健康診断の結果の聞き取りや地域活動の情報提供を行うことで、健康に関心を向けるように働きかけを実施しました。検診への同行を行う事で医療機関へ繋ぐことができました。

#### (2) 日常生活支援業務

##### ① 日常生活支援事業

	対象者
桜台	57人
第2育秀苑	45人

担当ケースワーカーと連携を取りながら、見守り強化や各種手続き支援等を実施しました。

## ② 夏季の見守り強化の支援

	対象世帯	見守り手段	対応件数
桜台	96 件	電話	902 件
		訪問	205 件
第 2 育秀苑	100 件	電話	886 件
		訪問	153 件

### (3) 連絡会議等への出席

福祉事務所保護係と定例連絡会に毎月出席し、担当ケースワーカーへ報告および相談をして、連携して支援する体制をとりました。また、連絡会での一口講座から日々の対応に必要なスキルを学び資質の向上を図りました。

### (4) 練馬総合福祉事務所へ報告

実績報告の他、福祉事務所から依頼のある調査に協力しました。

## 3. 職員配置

支援対象者世帯が 150 世帯ごとに 1 名の生活支援員と現場責任者 1 名を配置しました。  
(生活支援員は高齢者の居宅生活支援に関する知識を有する介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等の資格を有する者)

	桜台	第 2 育秀苑
現場責任者	1 名	1 名
生活支援員	2 名	2 名
計	3 名	3 名

## 4. 重要な取り組み課題

### 1 育秀会ブランドの確立

- ① 地域で暮らすその人が、生活の中で感じる不安や孤独を見過ごさずに、その人の声に真摯に耳を傾けることを意識して訪問支援を行いました。

### 2 未来志向の経営への取り組み

- ① リスクマネジメント対策の強化を図るため、感染症発生時や災害時における区の方針に則り訪問を行いました。
- ② 法令、社会的ルールの法人内研修の受講、区のセキュリティ教材を用いて研修を行い、個人情報保護に関する意識を高めました

### 3 質の高い支援への取り組み

- ① 支援対象者の人権尊重に十分に配慮し、自立した生活を送れるようにする事を意識して訪問支援を行いました。
- ② 連絡会において地区担当者と密に情報共有を行い、訪問支援を行いました。
- ③ 感染対策を実施しながら訪問面談がスムーズに行えるよう、計画を作成しました。

④ 支援方針の相談が適時に行える環境を整えました。

#### 4 福祉人材への取り組み

- ① キャリアパス制度の研修プログラムや、練馬福祉人材・育成研修センターの研修へ積極的に参加し自己研鑽に努めました。
- ② 労働環境の改善、職員処遇の向上など働き甲斐のある職場づくりに取り組みました。
- ③ 常に相談を受けられる環境を構築し、ハラスメント・メンタルヘルス対策を強化しました。

#### 5 地域貢献への取り組み

- ① 地域における交流の場（老人クラブ、町内会、シルバー人材、敬老館等）の情報を提供し、地域包括支援センターとも協働しながら利用に繋げ、個人と地域のネットワークの構築を図りました。

# 2022年度 練馬区委託事業報告

## 羽沢高齢者集合住宅における生活協力員

### 1. 事業運営の基本方針

羽沢高齢者集合住宅の入居者 43 世帯、50 名の方に対して、月 1 回訪問にて面談を行い実態把握し、各相談に対応してきました。その結果を報告します。

### 2. 主たる事業内容

#### (1) 入居者の実態把握および練馬区への報告書作成

4 月に年 1 回の入居者基本台帳を作成しました。

月 1 回（10 日または 20 日に）、感染予防対策を徹底した上で訪問面談を行い、生活実態の把握を行いました。

#### (2) 居室の鍵の預かり・管理、点検業者への貸出

点検業者による緊急通報装置と火災感知器の定期点検時に鍵管理室の鍵を貸し出し、管理簿にて管理確認を行いました。

#### (3) 近隣・親族等からの通報による安否確認

今年度は、サービス事業所より安否確認など連絡はありませんでした。

#### (4) 必要時に応じて関係機関との連絡

介護保険サービスを利用している方については、月 1 回担当ケアマネジャーから情報収集を行い、緊急時の連携に備えました。

#### (5) 練馬区からの連絡文書の配布

訪問日のお知らせ、練馬区から依頼があった場合に文書の配布を行いました。

#### (6) 消防署による防災（避難）訓練の実施

練馬区住宅課、練馬区危機管理課、地域の協力業者、鶴の里自衛消防組織と消防訓練を実施しました。

### 3. 職員配置

社会福祉士、介護支援専門員それぞれの資格を有する者 2 名、責任者 1 名を配置しました。

#### 4. 2022年度の重点課題

##### 1 育秀会ブランドの確立

住民が安心して暮らすことが出来るよう、練馬区や介護保険サービス事業者、地域包括支援センターと連携できる体制づくりに取り組み、情報共有を定期的に行いました。

##### 2 未来志向の経営への取り組み

入居者の人権尊重に十分配慮し支援をおこないました。また、個人情報の取り扱いは管理簿を用いて管理を適切に行いました。また、必要に応じ、個人情報は鍵付きのファイルに入れて持ち運ぶなどし、リスク管理を行いました。

##### 3 質の高い支援への取り組み

事業実施時は、常にアルコール消毒薬を携帯し、訪問時には毎回手指消毒を行ってから訪問を行いました。また、住民や近隣の方からの通報には、地域包括支援センター職員と連携して対応しました。

再開された防災訓練に参加し、入居者の安全策や設備等の把握を行いました。

##### 4 福祉人材への取り組み

練馬福祉人材育成・研修センターなどで実施している研修へ積極的に参加し、自己研鑽に努めました。

##### 5 地域貢献への取り組み

鶴の里ホールで開催される自主活動やサークルへの勧奨を行い、参加が難しい方等へは同行などを行い参加が出来るように努めました。

# 2022年度 練馬区委託事業報告

## 高齢者筋力向上トレーニング事業

### 1. 事業運営の基本方針

介護予防マネジメントの結果で参加が認められた高齢者 3 名に対し、生活機能を改善するプログラムを提供し、介護予防を図りました。

### 2. 主たる事業内容

2022年5月～7月、9月～11月の毎週火・金曜日に、介護予防プログラム1教室23回を実施しました。

(1) 事前アセスメント（ケース会議）は、2022年4月26日（第1回目）と2022年9月2日（第2回目）に行いました。

(2) 個別実施計画を利用者に説明し、同意を得ました。

(3) 以下のプログラムを実施しました。

①プログラムの実施前に体調のチェック（血圧・脈拍の測定等）

②専用マシンによる筋力トレーニング及び柔軟性、バランス能力等を向上させる包括的なトレーニング、及び歩行トレーニング

③利用者の状態に合わせた個別のトレーニング

④必要に応じて理学療法訓練を行う

⑤プログラムは1.5時間以上実施する

⑥自宅での運動プログラムの提供を行い、日常生活上の運動に関する相談に対応する

(4) 事後アセスメント（ケース会議）は、2022年7月29日（第1回目）と2022年11月29日（第2回目）に行いました。

(5) 従事者

①理学療法士等 1名

②運動指導員 1名

③看護師 1名

(6) その他

①ボランティアは感染予防のため本人の希望により参加を辞退されました。